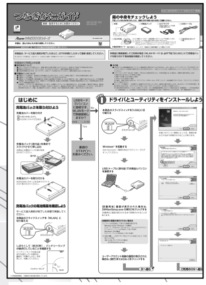
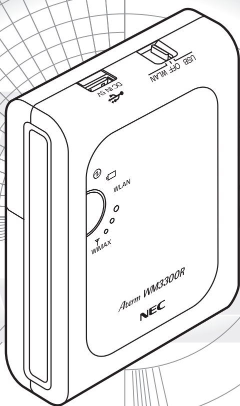
Aterm® WM3310R

取扱説明書 第２版



接続・設定の際は、「つなぎかたガイド」をご覧ください。



技術基準適合認証品

「ソフトウェアのご使用条件」は、「つなぎかたガイド」に記載されています。添付 CD-ROM を開封する前に必ずお読みください。

はじめに

この度は Aterm WM3310R をご利用いただき、まことにありがとうございます。
Aterm 3310R(以下、WM3310Rと呼びます。)は、KDDI 地域 WiMAX トータルソリューションを利用したサービス事業者が提供する、モバイル WiMAX サービスに接続して通信を行う IEEE802.11b、IEEE802.11g に準拠した WiMAX モバイルブロードバンドルータです。
本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

つなぎかたガイド（小冊子）

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。

取扱説明書（本書）

本商品の基本機能についての説明書です。

機能詳細ガイド（HTMLファイル）

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。
「機能詳細ガイド」はホームページに掲載されています。
箱に添付されておりますサポート案内の用紙に記載のURLからご覧ください。
（サポート案内は、「お問い合わせ・アフターサービス」や「お問い合わせ情報」などと記載されている場合があります。）

お知らせ

●本商品に添付の充電池パックは、リチウムイオン電池を使用しています。（☛P2-6）

Li-ion 00
リチウムイオン電池

使用後は、リサイクルへ

■電波に関する注意事項

- ●本商品は、技術基準適合証明を受けています。
- ●IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
  2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。
- ●IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。



2.4　：2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF：DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4　：想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■：低、中、および高域の一部を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

（1）本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

■ WiMAX 通信をご利用いただくにあたって

- ●本商品は日本国内でのご利用を前提にしています。海外に持ち出しての使用はできません。
- ●サービスエリア内でも電波が伝わりにくい場所（屋内、車中、地下、トンネル内、ビルの陰、山間部など）では、通信できなかったり通信速度が低下する場合があります。また、高層ビル･マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ●電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることとなりますが、電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- ●本商品は、高度な認証・暗号化技術を使った安全な通信が可能ですが、電波を利用する以上、第三者に通信を傍受される可能性があります。お客様ご自身の判断と責任において、お使いのパソコンのセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。
- ●この製品は、KDDI 地域 WiMAX トータルソリューションを利用したサービス事業者が提供するネットワーク環境でご使用になれますが、本製品の品質等に関してサービス事業者および KDDI 株式会社が何ら保証するものではありません。

Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。
らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。
Windows®、Windows Vista®、Windows Live™ は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版の略です。
※本商品の Windows Vista® のサポートは、Windows Vista® がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコン、またはメーカーが Windows Vista® の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。
Windows® 7 は、Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版の略です。
※本商品の Windows® 7 のサポートは、Windows® 7 がプリインストールされているパソコン、またはメーカーが Windows® 7 の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。
Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
Mac、Macintosh、AirMac、iPad、iPod、iPod touch、iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple,inc. の登録商標または商標です。
Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Firefox は、米国 Mozilla Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Safari は、Apple Inc. の商標です。
Opera は、Opera Software ASA の商標または登録商標です。
“プレイステーション” および “PSP” は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
Wii・ニンテンドー DS・ディーエス /DS は、任天堂の登録商標または商標です。
Xbox 360 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
JavaScript は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Adobe Reader、Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
WiMAX Forum は WiMAX Forum の登録商標です。WiMAX、WiMAX Forum ロゴ、WiMAX Forum Certified、および WiMAX Forum Certified ロゴは WiMAX Forum の商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利者の所有物です。
その他、各会社名、各製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

- **危　険**　：人が死亡する、または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
- **警　告**　：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- **注　意**　：人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
- **STOP お願い**　：本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号

発火注意　感電注意

■ 行為を禁止する記号

一般禁止　分解禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止　火気禁止

■ 行為を指示する記号

一般指示　電源プラグをコンセントから抜け

警　告

AC アダプタ

● AC100V の家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
差込口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。

⚠警　告

- ACアダプタの電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品のACアダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- ACアダプタは必ず本商品に添付のもの（ラベルに「AL1-002272-001」と記載されているもの）をお使いください。また、本商品に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本商品添付のACアダプタは日本国内AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。ACアダプタは、容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品のACアダプタをコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品のUSBコネクタに導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、隙間などから異物が入らないようにしてください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の電源を切り、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠警　告

● AC アダプタの電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。

● 強い衝撃を与えたり、落としたり、曲げたりしないでください。万一、落としたり破損した場合は、すぐに本商品の電源を切り、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

● 本商品は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

● 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。
改造した機器を使用した場合は、電波法に抵触します。

● ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

医療電気機器の近くでの取り扱いについて

※下記記載は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

● 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本商品は 22cm 以上離して携行および使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

● 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、パソコンの電源を切るようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

⚠警　告

- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
  - ・手術室､集中治療室（ICU）､冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本商品を持ち込まないでください。
  - ・病棟内では、パソコンの電源を切ってください。
  - ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、パソコンの電源を切ってください。
  - ・医療機関が個々に使用禁止､持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがってください。
- 自宅療養などで医療機関の外で､植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
  電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 自動車やエレベータ、自動ドアなどの自動制御電子機器に影響が出る場合は、すぐに使用を中止してください。安全走行や安全運行を阻害する恐れがあります。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属類を置かないでください。また、屋外で使用する場合、本商品が濡れないようにご注意ください。水や液体が中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがありますので、すぐにパソコンの電源を切り、パソコンから本商品を取り外して、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
- 引火や爆発のおそれがある場所（ガソリンスタンドなど）や引火性のガスの発生するような場所での使用や放置はしないでください。爆発、発火、破裂、故障、火災の原因となります。

⚠注　意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそば、炎天下の車内など温度の高いところで使用、保管、放置しないでください。機器の変形、故障の原因となります。また、本商品の一部が熱くなり、やけどの原因となったり、内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
  落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品を風通しの悪いところに置かないでください。
  内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
  ・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  ・じゅうたんや布団の上に置く
  ・テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。また、本商品の上に物を置かないでください。
  重ね置きや上部に物を置くと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本商品を、無理に縦置きにはしないでください。安定せず倒れて、故障や破損の原因となります。
  本商品を充電池カバーを上にして使用しないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。
- ポケットの中に入れて使用したり、皮膚に触れた状態で使用しないでください。低温やけどを起こす可能性があります。
- 布や毛布をかぶせたり、包んだりしないでください。
  火災や故障の原因となります。

⚠注　意

AC アダプタ

- AC アダプタの電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ本体をもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- AC アダプタの電源プラグとコンセントの間にほこりがある場合は、取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品を AC アダプタで充電しながら使用した場合、AC アダプタが高温になることがあります。やけどなどのおそれがありますので、ご注意ください。

禁止事項

- 無理な力がかかるところ（ズボンのポケット、かばんの底など）に入れないでください。破損、故障の原因となります。
- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 「つなぎかたガイド」にしたがって接続してください。間違えると正常に動作しなかったり、接続機器が故障することがあります。

その他のご注意

- 使用中は本商品が熱くなることがありますが、手で触れることができる温度であれば異常ではありません。ただし、長時間触れたまま使用すると、低温やけどになることがあります。

お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所でのご使用は避けてください。
  - ・振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどの近くで使用すると、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、テレビ画面が乱れるなど受信障害の原因となる場合があります。このような場合は、お互いを数m以上離してお使いください。
- 本商品と無線 LAN 端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、USB コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜き、内蔵の充電池パックを取り外してください。

お願い

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
  ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

無線 LAN ／ WiMAX に関するご注意

- WiMAX の通信速度、最大下り 40Mbps/ 上り 10Mbps（規格値）は IEEE802.16e-2005（Mobile WiMAX）の規格で定められたデータ転送速度の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
  同様に、無線 LAN の通信速度最大 54Mbps（規格値）、最大 11Mbps（規格値）は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
- 本製品は IEEE802.16e-2005（Mobile WiMAX）準拠製品であり、IEEE802.16e-2004（固定 WiMAX）との接続性は保証の限りではありません。
- サービスエリア外ではご使用になれません。
- サービスエリア内でも電波が伝わりにくい場所（屋内、車中、地下、トンネル内、ビルの陰、山間部など）では、通信できなかったり通信速度が低下する場合があります。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。あらかじめご了承ください。
- WiMAX および無線 LAN の電波状態や伝送速度は、建物や家具、移動速度などの周辺環境により大きく変動します。

その他のご注意

- 本商品の USB ポートに USB ケーブルや AC アダプタを接続する際や接続している間は、本商品に無理な力が加わらないようにしてください。故障や破損の原因となります。
- 通信中に本商品の電源が切れたり、本商品を取り外したりすると、通信ができなくなり、データが壊れることがあります。重要なデータは元データと照合してください。
- 本商品プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。
  プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

　無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
　その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

　本来、無線 LAN 端末や無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

　セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

　セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

リチウムイオン電池の取り扱いについて

本商品で使用する充電池パックは、有機溶媒などの可燃物を使用しています。取り扱いを誤りますと破裂、発火、発煙のおそれ、性能低下、故障の原因となりますので、次の禁止事項を必ずお守りください。

⚠危 険

- 充電池パックを分解したり、改造しないでください。充電池パックには、危険を防止するための安全機構や保護装置が組み込まれています。これらを損なうと、充電池パックが漏液、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- （+）と（−）を針金などの金属で接続しないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。充電池パックがショート状態となり、過大な電流が流れ漏液、発熱、発煙、破裂、発火したり、あるいは針金やネックレス、ヘアピンなどの金属が発熱する原因となります。
- 充電池パックを火の中に投入したり、加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したり、電解液に引火したりして発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 充電池パックを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所（80℃以上）で使用したり、放置しないでください。熱により樹脂セパレータが損傷した場合、充電池パックが内部ショートし、漏液、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックを水や海水などにつけたり、濡らさないでください。充電池パックに組み込まれている保護装置が壊れると充電池パックが漏液、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 火のそばや、炎天下などでの充電はしないでください。高温になると危険を防止するための保護装置が働き、充電できなくなったり、保護装置が壊れて異常な電流や電圧で充電され、充電池パック内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 充電池パックの充電は、必ず本商品に実装して、必ず本書に記載された方法（☛P2-3）で行ってください。絶対にそれ以外の方法では充電しないでください。他の充電器などで行うと、充電池パック内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。充電池パックが破裂、変形され内部でショート状態になり漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。

⚠危　険

- 強い衝撃を与えたり投げつけたりしないでください。充電池パックに組み込まれている保護装置が壊れると、異常な電流や電圧で充電され、充電池パック内部で異常な化学反応が起こり、漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 外傷、変化の著しい充電池パックは使用しないでください。漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 充電池パックに直接ハンダ付けしないでください。熱により絶縁物が溶けたり、ガス排出弁や安全機構を損傷したりして漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- （＋）と（−）とを逆にして使用しないでください。充電時には逆に充電され充電池パック内部で異常な化学反応が起きたり、放電時に思わぬ異常な電流が流れたりして、漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 充電池パックはプラス・マイナスの向きが決められています。本商品に充電池パックを実装するときに、うまく実装できない場合は、無理に接続しないで、充電池パックの向きを確かめてください。逆につなぐと充電池パックが逆に充電され、内部で異常な化学反応が起こり、充電池パックが漏液、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- 充電池パックを電源コンセントや、車のシガレットコンセントなどに接続しないでください。高い電圧を加えられることによって、過大な電流が流れ、充電池パックが漏液、発熱、発煙、破裂、発火する原因となります。
- この充電池パックを本商品以外の用途に使いますと、充電池パックの性能や寿命が低下したり、機器によっては、異常な電流が流れたりして充電池パックが破損したり漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 充電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因となります。
- 本商品には充電池パック（ラベルに「AL1-002263-001」と記載されているもの）を添付しています。指定の充電池パック以外の充電池パックを使用しないでください。漏液、発熱、発煙、破裂、発火、機器本体の故障の原因となります。

⚠ 警　告

- 充電池パックを誤って飲み込むことのないように、使用機器および充電池パックは、乳幼児の手の届かないところへ置いてください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。充電池パックを漏液、発熱、発煙、破裂、発火させる原因になるおそれがあります。
- 電子レンジや高圧容器に入れたりしないでください。急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして漏液、発熱、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 充電池パックが漏液したり異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、発煙、破裂、発火の原因となります。
- 充電池パックの使用、充電、保管時に異臭を発したり、漏液、発熱をしたり、変色、変形その他今までと異なることに気がついたときには機器あるいは充電器より取り出し、使用しないでください。そのまま使用すると、充電池パックが漏液、発熱、発煙、破裂、発火する原因になるおそれがあります。
- 充電器の内部には、高電圧がかかっているので、分解しないでください。感電の原因となることがあります。修理は販売店にご相談ください。

⚠ 注　意

- 充電池パックを保管する場合および廃棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁してください。他の充電池パックや金属製のものと混ぜないようにしてください。
- 充電池パックは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。充電池パックを漏液させるおそれがあります。また、充電池パックの性能や寿命を低下させることがあります。
- 充電池パックを入れてご利用になる場合は特に、直射日光・高温・多湿の場所に本商品を設置しないようにご注意ください。
- 充電池パックの外装ラベルや外装にキズをつけないでください。
- 充電池パックの寿命は、お客様のご利用環境により変わります。いざという場合に備えて、早めの交換をお勧めします。

目次

「機能詳細ガイド」目次

本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」が別紙に記載のホームページにて掲載されています。以下に記載されている項目を示します。

〈機能一覧〉

■ルータ機能■

ブロードバンドルータ機能
ポートマッピング（アドバンスドNATオプション）
IPパケットフィルタリング
DHCPサーバ機能
不正アクセス検出機能
UPnP機能
アドバンスドNAT（IPマスカレード/NAPT）
DNSルーティング
ダイナミックポートコントロール機能
DNSフォワーディング
通信情報ログ（アクセスログ機能）

■WAN側機能■

VPNパススルー機能

■無線機能■

IEEE802.11b無線LAN
暗号化
ネットワーク名（SSID）によるセキュリティ機能
マルチSSID
AirMac対応のパソコンでインターネット接続
らくらく無線スタートEX機能
IEEE802.11g無線LAN
MACアドレスフィルタリング機能
ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）
ネットワーク分離機能
らくらく無線スタート機能

■その他の機能■

管理者パスワードの変更
通信確認（疎通確認テスト）
ファームウェアの更新
時刻設定
情報表示（装置情報、状態表示）

■USBモード■

USBモードに設定する
WiMAX Connection Utilityの使い方

〈クイック設定Webの使い方〉

〈無線機能の使い方〉

機能一覧（無線）
無線セキュリティ
クイック設定Webの使い方（無線）

〈USBモードの使い方〉

USBモードに設定する
WiMAX Connection Utilityの使い方

〈充電池パックの取扱い方〉

〈お困りのときには〉

本商品に収録されているソフトウェアについて

本商品には下記内容のソフトウェアが収録されています。

① WM3310R の設定や状態表示を行う「WiMAX Connection Utility」
② WM3310R 用のドライバー式

【ご使用上のご注意】

● ドライバとユーティリティのインストールおよびアンインストールを実行する場合は、Administrator 権限のあるユーザーでログオンしてください。

ソフトウェアの動作環境

● **下記の OS が正しく動作すること。**
・Windows Vista® または Windows® XP（Service Pack 2 または 3）の日本語版かつ 32 ビット（x86）版
・Windows® 7 の日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版

● **推奨環境**
・Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
・ハードディスクの空き容量：40MB 以上
・メモリ容量：Windows Vista®/Windows® 7 の場合は、512MB 以上を推奨
Windows® XP の場合は、256MB 以上を推奨
800 × 600High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ

お知らせ

●表示画面
・サイズ：800 × 600 ピクセル以上
・色　　：High-Color（24 ビット）以上
上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。詳細は、「メニュー画面」の「本 CD-ROM について」をご覧ください。

① 無線 LAN 内蔵パソコンから無線接続を行うらくらく無線スタート EX（Windows Vista® および Windows® 7/XP（Service Pack 2 または 3）のみ）
② TCP/IP チューンアップウィザード
③ 取扱説明書（PDF ファイル）

【ご使用上のご注意】

● 添付の CD-ROM をセットして［自動再生］画面が表示されたら、［Menu.exe の実行］をクリックしてください。
● 添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。
  ①［スタート］（Windows® のロゴボタン）をクリックし、［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［ファイル名を指定して実行］を選択する
    ※ Windows® XP/2000 Professional の場合は、［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
  ② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe と入力し、［OK］をクリックする
    （例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q：¥menu.exe）
● CD-ROM をパソコンから取り出すときは、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。
● Windows Vista® および Windows® 7/XP/2000 Professional でユーティリティのアンインストールを実行する場合は、Administrator 権限のあるユーザーでログオンしてください。

CD-ROM の動作環境

● **下記の OS が正しく動作し、CD-ROM が使用できること。**

・Windows Vista® または Windows® XP（Service Pack 2 または 3）の日本語版かつ 32 ビット（x86）版

・Windows® 7 の日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版

● **推奨環境**

・Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ

・ハードディスク容量：40MB 以上を推奨

・メモリ容量： Windows Vista®/Windows® 7 の場合は、512MB 以上を推奨
Windows® XP/2000 Professional の場合、256MB 以上を推奨

・800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ
上記以外でも設定できますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

お知らせ

●PDF 形式のファイルをお読みいただくためには、Acrobat Reader 5.0 以上が必要です。Adobe Reader または Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。

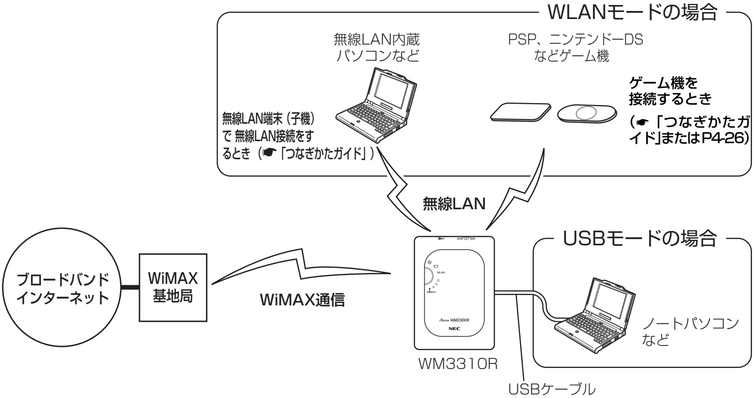
●本商品の対応 OS については、P1-12 を参照してください。

1 準備

1-1 本商品でできること

本商品は、IEEE802.16e（2.5GHz 帯）の WiMAX ネットワークで WiMAX 基地局と接続し、複数の無線 LAN 端末が同時にインターネットを利用できるよう束ねる WiMAX モバイルブロードバンドルータです。

本商品は、必ずサービス加入契約が完了した状態でご利用ください。（不明な場合は、お申し込みまたは購入した取扱店へお問い合わせください。）



インターネットに接続するまでの手順や無線 LAN 設定については、「つなぎかたガイド」を参照してください。
さらに本商品では、ホームページに掲載されている「WWW機能詳細ガイド」で記載している機能をご利用になることができます。設定方法については、それぞれの参照先をご覧ください。

■USB モード／ WLAN モードを切り替えて使う

本商品では、WiMAX デバイスとして動作するモード（USB モード）と、WiMAX モバイルルータとして動作するモード（WLAN モード）を切り替えて利用することができます。（☛P1-11）

※ モードを変更する場合は、本商品側面にあるスライドスイッチを切り替えて設定します。

■外出先や移動中に使う

本商品は、外出先や移動中でも、WiMAX ネットワークにワイヤレスで接続してインターネットを利用することができます。

※ 充電完了後の WLAN モードでの電池動作時間は、約 2.5 時間となります。
充電池パックの充電状態、気温などの使用環境、利用場所の電波状態などにより、利用時間は変わります。

※ 電池残量はバッテリーランプのつきかたで確認することができます。（☛P1-7）

■無線 LAN 通信

本商品は、IEEE802.11b、IEEE802.11g の無線 LAN アクセスポイント（親機）としてご利用になれます。

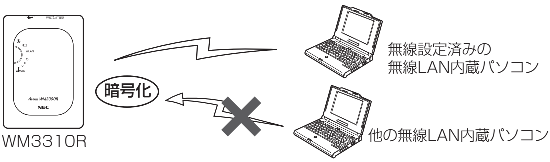
● IEEE802.11g、IEEE802.11b に対応した無線 LAN 端末（子機）と無線通信を行うことができます。

※ 無線で届く範囲は環境によって異なります。

● 無線 LAN 内のセキュリティ対策

他の無線LANパソコンから接続されたり、通信が傍受されるのを防ぎます。(☛P4-32)

※本商品にはあらかじめ、プライマリ SSID には AES、セカンダリ SSID には WEP の暗号化キーが設定されており、セキュリティがほどこされています。



● 無線 LAN 端末（子機）を増設する（機能詳細ガイド）

無線 LAN 端末（子機）として別売りの次の機器を増設できます。

IEEE802.11b 通信	：WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL54GC/WL54GU/WL54SC/WL54SC2/WL54AG/WL300NU-AG/WL300NU-G/WL54SU/WL54SU2/WL54TU/WL300NE-AG/WL54SE/WL54SE2/WL54TE
IEEE802.11g 通信	：WL300NC-G/WL300NC/WL130NC/WL54GC/WL54GU/WL54SC/WL54SC2/WL54AG/WL300NU-AG/WL300NU-G/WL54SU/WL54SU2/WL54TU/WL300NE-AG/WL54SE/WL54SE2/WL54TE

※ WL54AG-SD、WL54AG（S）は WL54AG に含まれます。

※接続する無線 LAN 端末（子機）によって通信速度が異なります。

また、WM3310R が使用している通信規格と同じ通信規格の無線 LAN 内蔵パソコンを増設できます。（パソコンの機種により、機能制限があったり、接続できない場合があります。）

無線 LAN は、10 台以下でのご使用をお勧めします。

■セキュリティ対策をする

ルータ機能により、ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策をすることができます。（機能詳細ガイド）

- IP パケットフィルタリング
- 不正アクセス検出機能
- ダイナミックポートコントロール機能
- アドバンスド NAT（IP マスカレード／NAPT）

■マルチ SSID

本商品では 2 つの SSID（プライマリ／セカンダリ）を利用可能です。（機能詳細ガイド）

● プライマリ SSID
（初期値：無線 LAN 設定ラベル※に記載されている「ネットワーク名（SSID)」、WARPSTAR-xxxxxx）
※無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に貼付しています。
暗号化方式として WEP/TKIP/AES が利用可能。（初期値は AES）

● セカンダリ SSID
（初期値：無線 LAN 設定ラベル※に記載されている「ネットワーク名（SSID)」の末尾に「-W」がついたもの、WARPSTAR-xxxxxx-W）
※無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に貼付しています。
暗号化方式として WEP のみ利用可能。（初期値は 128bitWEP）
※セカンダリ SSID には、工場出荷時の状態で下記の制限があります。
・クイック設定 Web が表示できない
・本商品にプライマリ SSID で接続された端末に接続できない。
制限を解除したい場合は、プライマリ SSID に接続した無線ＬＡＮ端末（子機）から、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」ー［無線 LAN 設定］の［対象ネットワークを選択］でセカンダリ SSID を選択し、［無線 LAN アクセスポイント（親機）設定］で［ネットワーク分離機能］を［使用しない］に設定してください。
（機能詳細ガイド）

両 SSID は同時に動作しているため、AES を利用可能な無線 LAN 端末（子機）と、ニンテンドー DS など WEP のみが利用可能な無線 LAN 端末(子機)が共存可能です。

なお、らくらく無線スタート利用時には、無線 LAN 端末（子機）の無線 LAN 規格に応じて、どちらの SSID に接続するかは自動選択・設定されますので、通常、2 つの SSID の存在を意識していただく必要はありません。

■ネットワーク分離機能

本商品の「クイック設定 Web」および他の SSID 側の無線 LAN 端末へのアクセスを制限する機能です。
ネットワーク分離機能を「使用しない」に設定すると、ゲーム機などのセカンダリ SSID に接続する機器からも「クイック設定 Web」にアクセスすることができます。

■ゲーム機を接続する

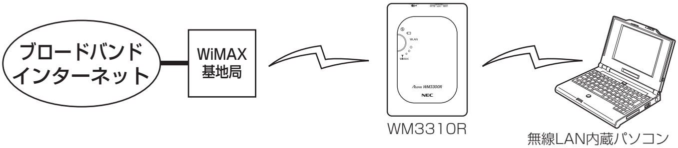
Wii、ニンテンドー DS、ニンテンドー DSi、「プレイステーション 3」、PSP「プレイステーション・ポータブル」および Xbox 360 などネットワークゲーム機を接続することができます。（☛P4-26）

■パソコンのネットワークゲームや TV 電話を利用する

次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。

・ポートマッピングの設定（☛P4-33）

また、UPnP 機能を使用して“Windows Live™ Messenger”、Windows® XP の“Windows Messenger”サービスなどで TV 電話などの機能をご利用になれます。(☛P4-33)



■インターネットの通信を切断する

・ クイック設定 Web の［情報］ー［現在の状態］で切断できます。（自動で再接続を行います。）（機能詳細ガイド）

■SOHO で使用するときに便利な機能

● 会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN に接続する（VPN（PPTP/IPsec）パススルー機能）（☛P4-33、機能詳細ガイド）

VPN（Virtual Private Network：仮想閉域網）に PPTP/IPsec で接続できます。

■知っておくと便利な機能

● バージョンアップする（☛P4-34）

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、新しい機能を追加したり、場合によっては動作を改善します。

● 設定を保存する（機能詳細ガイド）

クイック設定 Web で、現在の設定内容を保存できます。WM3310R を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから WM3310R に設定内容を復元することができます。

● 初期化する（☛P5-13）

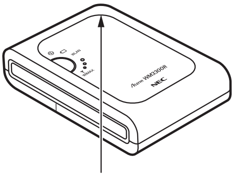
設定内容を工場出荷の状態に戻します。
うまく動作しない場合や、もう一度はじめから設定したいときにお使いいただけます。

1-2 箱の中身を確認しよう

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別紙に示すお問い合わせ先にご連絡ください。

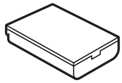
● 構成品

□ WM3310R
WiMAX 通信によるネットワーク接続に必要なドライバとユーティリティが収録されています。

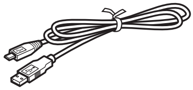


保護シートが貼ってあります。
はがしやすく加工していますので、
ここからはがしてください。

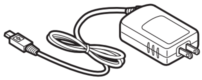
□ 充電池パック



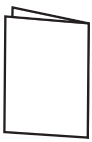
□ USB ケーブル



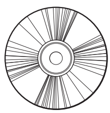
□ WM3310R 用
AC アダプタ
WM3310R の充電池パックを充電する際に使用します。（☛P2-3）



□ つなぎかたガイド（別紙）

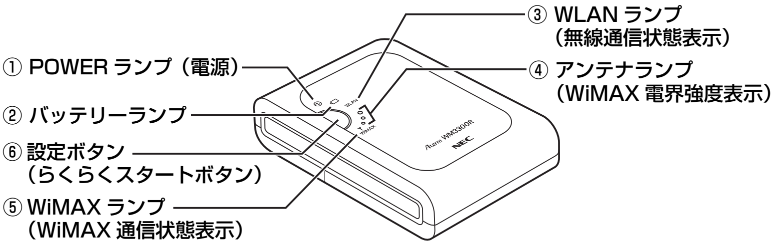


□ CD-ROM
らくらく無線スタート EX ※や取扱説明書（本書）が収録されています。（☛P21）
ドライバとユーティリティは、WM3310R 本体に収録されています。（☛P20）
※ WLAN モードで本商品に無線接続する場合に使用できます。（☛「つなぎかたガイド」参照）



1-3 各部の名称とはたらき

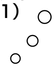
WM3310R



【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色（つきかた）	本商品の状態
①POWER ランプ（電源）（※ 1）	緑（点灯）	電源が入っているとき
	緑（点滅）	らくらく無線スタートで設定をしているとき（☛「つなぎかたガイド」参照）
	橙（点滅）	
	緑橙（点滅）	新しいファームウェアが存在しているとき（☛P4-34）
	橙（点灯）	ファームウェアをバージョンアップしているとき
		らくらく無線スタートの設定が完了したとき
	赤（点灯）	らくらく無線スタートに失敗したとき
	赤（点滅）	初期化準備状態
	消灯	スライドスイッチが「USB」または「OFF」のとき
②バッテリーランプ	緑（点灯）　（※ 1）	電池の残量が 3 割以上のとき
	緑（遅い点滅）（※ 1）	電池の残量が 1 割以上 3 割未満のとき（1 秒間隔）
	緑（速い点滅）（※ 1）	電池の残量が 1 割未満のとき（0.5 秒間隔）
	橙点灯　（※ 2）	充電中
	赤点灯　（※ 2）	充電異常 （約 5 時間以上充電しても充電が完了しない状態） ※いったん AC アダプタを外してから、もう一度、AC アダプタを接続して充電してください。それでもバッテリーランプが赤点灯する場合は、機器の故障の可能性があります。別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。
	消灯	充電完了（スライドスイッチ「OFF」時） ※ただし、WLAN モード時、電池残量が減り過ぎている場合でも消灯します。

（次ページに続く）

ランプの種類	ランプの色（つきかた）	本商品の状態
③WLAN ランプ（無線通信状態表示）（※ 1） WLAN	緑（点灯）	IEEE802.11g+b モードで通信可能なとき
	緑（点滅）	IEEE802.11g+b モードでデータ送受信しているとき
	消灯	スライドスイッチが「USB」または「OFF」のとき
④アンテナランプ（WiMAX 電界強度表示）（※ 1） 	緑（1 点灯）	弱電界
	緑（2 点灯）	中電界
	緑（3 点灯）	強電界
	消灯	圏外／ネットワーク接続していないとき
⑤WiMAX ランプ（WiMAX 通信状態表示） 	緑（点灯）	ネットワーク接続で通信しているとき
	緑（点滅）	ネットワーク接続処理中
	赤（点滅）　（※ 1）	サービス加入契約が完了していないとき
	赤（点灯）	ネットワーク接続に失敗したとき
	橙（点灯）　（※ 3）	
	消灯	ネットワーク接続していないとき

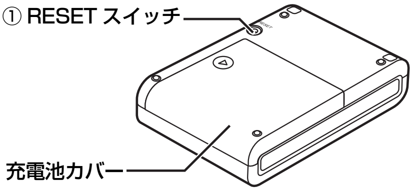
（※ 1）WLAN モード時に状態表示されます。
（※ 2）USB モード時は点灯しません。
（※ 3）USB モード時のみ点灯します。

【設定ボタン】

名　称	説　明
⑥設定ボタン（らくらくスタートボタン）（※ 4）	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。 （☛「つなぎかたガイド」参照）
	WiMAX 通信が失敗した場合、再度 WiMAX のネットワークに接続するときに使用します。

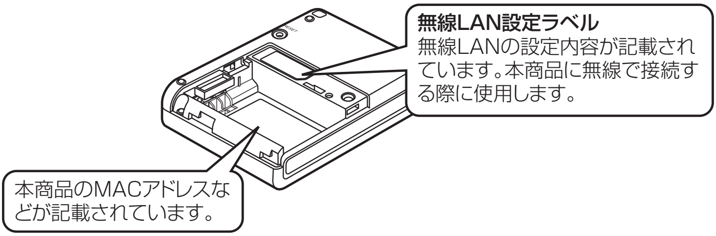
（※ 4）無線 LAN 端末（子機）側の操作説明では、「らくらくスタートボタン」または「らくらく無線スタートボタン」という名称で記載されています。

● 裏面図



＜②充電池パック収納部（充電池カバーを取り外した部分）＞

※ 充電池カバーを取り外す場合は、必ずスライドスイッチを「OFF」にし、AC アダプタを本体から取り外してから行ってください。

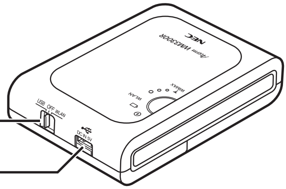


名　称	説　明
① RESET スイッチ	初期化するときに使用します。（WLAN モードでご利用の場合のみ）（☛P5-14）
②充電池パック収納部	充電池パックを取り付けます。 ※充電池パックの交換については、P2-5 を参照してください。

お知らせ

●本商品に充電池パックが入っていない、または、電池残量がない場合は、WLAN モード（☛P4-2）をご利用になれません。

● 側面図



名　称	モード	説　明
①スライドスイッチ	WLAN	WiMAX モバイルルータとして動作するモードです（☛P4-2）
	OFF	電源を OFF にします。
	USB	WiMAX モバイルルータの機能を停止して、WiMAX デバイスとして動作するモードです。USB ポートに、USB ケーブル経由でパソコンを接続して使用します。（☛P3-2）

名　称	説　明
② USB ポート	AC アダプタを接続して充電するときに使用します。（☛P2-3） また、USB ケーブルを接続して WiMAX デバイスとしてネットワークに接続するときに使用します。（☛P3-2）

お知らせ

●スライドスイッチが「WLAN」の場合、下記のような使用状況により、本体が高温になった場合は、自動的に動作を停止します。
- ・直射日光に当たるところで使用した場合
- ・高温下で充電しながら使用した場合
- ・かばんに入れて使用した場合

その場合、再度ご使用になるには、スライドスイッチをいったん「OFF」にして、本体温度が下がってから、スライドスイッチを元に戻してご使用ください。

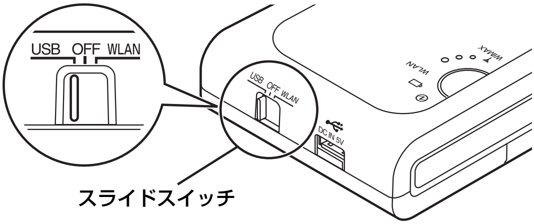
●スライドスイッチが「WLAN」の場合、電池にてご利用中に一定時間※以上通信が行われなかったときは、自動的に動作を停止します。その場合、再度ご使用になるには、スライドスイッチをいったん「OFF」にしてから､スライドスイッチを元に戻してご使用ください。

※ 工場出荷時の状態では「10 分」に設定しています。この「無通信監視時間」は、クイック設定 Web の［詳細設定］－［その他の設定］の「自動電源 OFF 設定」で変更することができます。（機能詳細ガイド）
無線子機の検出状況によっては、設定している時間に対して、5分程度長くなる場合があります。

1-4 動作モードについて

本商品には、次の2つの動作モードがあります。
本商品側面にあるスライドスイッチを切り替えて設定します。

本商品は、必ずサービス加入契約が完了した状態でご利用ください。（不明な場合は、お申し込みまたは購入した取扱店へお問い合わせください。）



■USB モード（☛P3-2）

WiMAX モバイルルータの機能を停止して、WiMAX デバイスとして動作するモードです。
IEEE802.16e（2.5GHz 帯）を使用して、ネットワークにワイヤレスで通信することができます。
本商品の USB ポートに、USB ケーブル経由でパソコンを接続して使用します。
USB ポート（USB2.0 推奨）、対応 OS を搭載している PC-AT 互換機でご使用になれます。

●対応 OS は下記の通りです。
- Windows Vista® または Windows® XP（Service Pack 2 または 3）の日本語版かつ 32 ビット（x86）版
- Windows® 7 の日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版

■WLAN モード（☛P4-2）

WiMAX モバイルルータとして動作するモードです。
本商品には無線 LAN で接続して使用します。

お知らせ

●本商品のスライドスイッチを OFF にすると、本商品の機能が止まります。
本商品の充電をする場合は、スライドスイッチを OFF または WLAN にしてください。（☛P2-3）また、スライドスイッチが USB のときは、充電されません。

1-5 あらかじめ確認してください

本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- **USB ポート（USB2.0 推奨）が装備されていること**
- **WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」になっていること（☛P1-15）**
- **ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止**
  本商品設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない（起動したままでいる）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）
- **TCP/IP プロトコルスタックに対応していること**
  必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。
- **パソコンのネットワークの設定を確認すること（☛P1-13）**
- **クイック設定 Web で設定を行う場合は、JavaScript を有効にする設定にしておくこと（☛P1-16）**

〈接続可能な機器〉

OS など	WM3310R	
	WLAN モード	USB モード
Windows®	○	○
Macintosh	○	×
その他 OS（Linux など）	○	×
ゲーム機	○	×

※ Windows Vista® をご利用の場合
本商品は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版のみに対応しています。
Windows Vista® がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコンまたはメーカーが Windows Vista® の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。
自作のパソコンはサポートしておりません。

※ Windows® 7 をご利用の場合
本商品は、Windows® 7 Starter、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版のみに対応しています。
本商品の Windows® 7 のサポートは、Windows® 7 がプリインストールされているパソコン、またはメーカーが Windows® 7 の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。

お願い

●OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページから本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

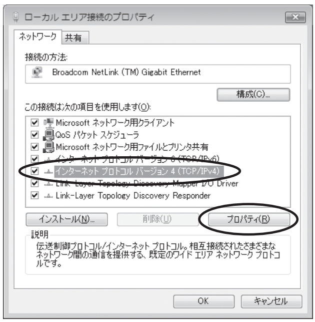
パソコンのネットワークの確認

パソコンのネットワークの設定が、Windows® の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows Vista®/Windows® 7 の場合

1. ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する
2. ［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］をクリックし、［タスク］欄の［ネットワーク接続の管理］をクリックする

   ※ Windows® 7 の場合は、［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］をクリックし、［アダプターの設定の変更］をクリックします。
3. ［ワイヤレスネットワーク接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする
4. ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］をクリックする
5. ［インターネットプロトコル　バージョン 4(TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックする



6. ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する
7. ［OK］をクリックする
8. ［OK］または［閉じる］をクリックする

お知らせ

- Windows Vista®/Windows® 7 の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows Vista® の通常表示モード（コントロールパネルホーム）、Windows® 7 の通常表示モード（カテゴリ表示）を前提に記述しています。

Windows® XP をご利用の場合

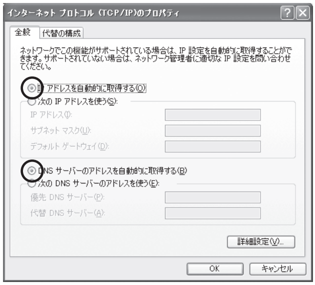
1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［ネットワーク接続］をクリックする

3 ［ワイヤレスネットワーク接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 ［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックする

5 ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する



6 ［OK］をクリックする

7 ［OK］または［閉じる］をクリックする

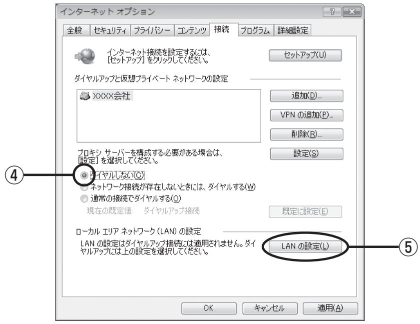
お知らせ

●Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。
●ここでは、Windows® XP の通常表示モード（カテゴリー表示）を前提に記述しています。

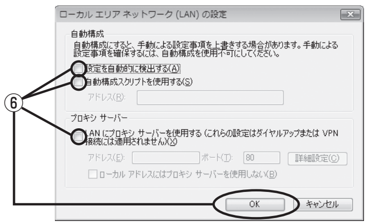
WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。
以下は Windows Vista® で Internet Explorer 7.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（プロバイダやソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

①Internet Explorer を起動する。
②［ツール］の［インターネットオプション］を選択する。
③［接続］タブをクリックする。
④ダイヤルアップの設定の欄で、［ダイヤルしない］を選択する。
※グレーアウトしている場合は、⑤にお進みください。



⑤［LAN の設定］をクリックする。
⑥［設定を自動的に検出する］、［自動構成スクリプトを使用する］、［LAN にプロキシサーバーを使用する］の ☑ を外して［OK］をクリックする。
プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。



⑦［OK］をクリックする。

お知らせ

●プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript の設定を確認する

WWWブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを高く設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript を「有効にする」に設定してください。

Windows® で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Windows Vista® で Internet Explorer 7.0 を使用している場合の例です。なお、Windows® 7/XP/2000 Professional で設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

1 [スタート]（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［クラシック表示］（Windows® XP の場合は［クラシック表示に切り替える]）－［インターネットオプション］をダブルクリックする

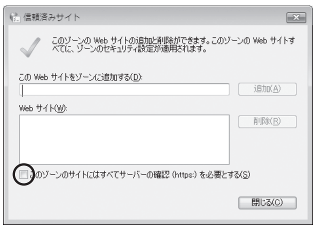
※ Windows® 7 で Internet Explorer 8.0 をご利用の場合は、［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［インターネットオプション］をクリックします。

※ Windows® 2000 の場合は、［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］－［インターネットオプション］をダブルクリックします。

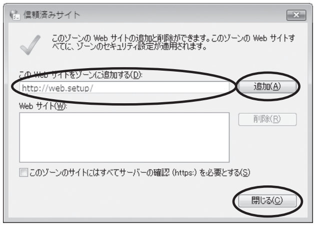
2 ［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする

3 ［サイト］をクリックする

4 ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認（https:）を必要とする］のチェックを外す



5　［この Web サイトをゾーンに追加する］に「http://web.setup/」を入力し［追加］をクリックし、［閉じる］（Windows® 2000 Professional で Internet Explorer 6.0 SP1 をご利用の場合は［OK］）をクリックする

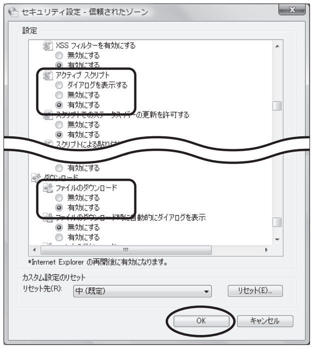


※クイック設定Webによる初期化(☛P5-13)を行うと、再起動後は自動的に本商品の工場出荷時の IP アドレス（192.168.0.1）でクイック設定 Web 画面が開きますので、本商品の IP アドレス「http://192.168.0.1/」も追加することをお勧めします。

※IP アドレス（工場出荷時は 192.168.0.1）を入力して設定画面を開く場合には、IP アドレスを入力します。（例:「192.168.0.1」）IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。

6　［レベルのカスタマイズ］をクリックする

7　画面をスクロールし、［アクティブスクリプト］と［ファイルのダウンロード］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする



8　［はい］をクリックする

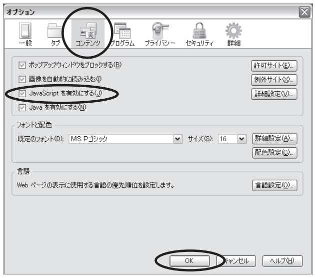
9　［適用］をクリックする

10　［OK］をクリックする

Windows® で Firefox をご利用の場合

以下は、Windows Vista® で Firefox 3.0 を使用している場合の例です。

1. Firefox を起動する
2. メニューバーの［ツール］－［オプション］をクリックする
3. ［コンテンツ］をクリックする
4. ［JavaScript を有効にする］にチェックを入れる
5. ［OK］をクリックする



Windows® で Opera をご利用の場合の設定方法は「機能詳細ガイド」をご覧ください。

Mac OS で Safari をご利用の場合

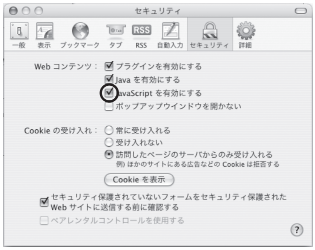
以下は、Mac OS X v10.4 Tiger で Safari 2.0 を使用している場合の例です。

1 Safari を起動する

2 メニューバーの［Safari］－［環境設定］をクリックする

3 ［セキュリティ］をクリックする

4 ［JavaScript を有効にする］にチェックを入れる



5 メニューバーの［Safari］から［Safari 終了］をクリックし、Safari を終了させる

Mac OS で Firefox をご利用の場合、または、Mac OS で Opera をご利用の場合の設定方法は「機能詳細ガイド」をご覧ください。

MEMO

2 充電池パックについて

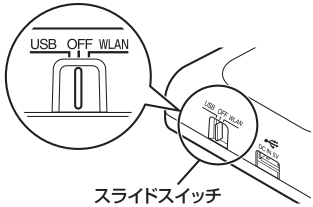
2-1 充電池パックを取り付ける

添付の充電池パックは、下記の手順で取り付けてください。

充電池パックの取り付けかた

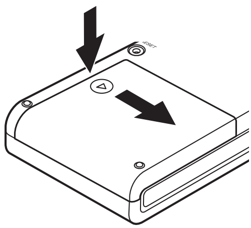
AC アダプタが接続されている場合は、取り外してから、下記の手順を行ってください。

1 本商品のスライドスイッチを「OFF」にする



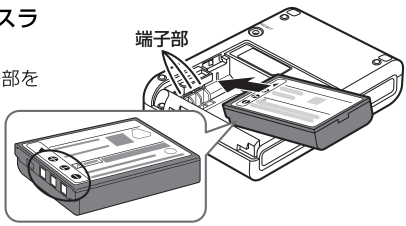
2 充電池カバーを取り外す

押しながら、矢印の方向にスライドさせます。

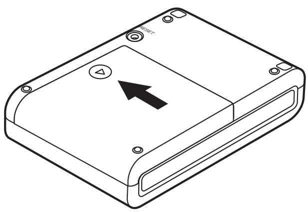


3 添付の充電池パックを奥までスライドさせ、押し込む

WM3310R と充電池パックの端子部を合わせてください。



4 充電池カバーを取り付ける



2-2 充電する

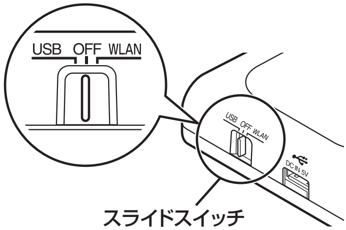
本商品に取り付ける充電池パックは、添付の AC アダプタで充電することができます。添付の AC アダプタ以外では充電できませんので、ご注意ください。パソコンなどからの USB 充電はサポート対象外です。

※ 充電は、スライドスイッチが「OFF」と「WLAN」の場合に行うことができますが、WLAN モード動作時は、電池に負担をかけないように 7 ～ 8 割の充電容量となります。満充電したい場合は、スライドスイッチを「OFF」にして充電してください。
※ 充電池パック保護のため、充電池パックの温度が約 0℃以下または約 50℃以上になった場合は、充電は中止されます。

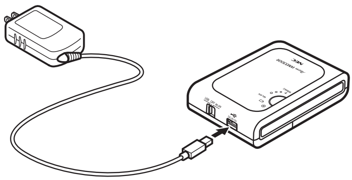
充電のしかた

本商品に取り付けた充電池パック（☛P2-2）を充電する手順は、下記の通りです。

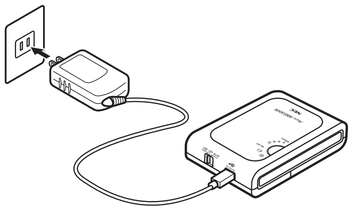
1 本商品のスライドスイッチを「OFF」にする



2 本商品の USB ポートに、AC アダプタ（添付品）の USB プラグを接続する



3 AC アダプタ（添付品）の電源プラグを電源コンセントに接続する



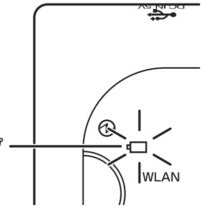
> **!**
> AC アダプタは、必ず本商品に添付のもの（ラベルに「AL1-002272-001」と記載されているもの）をお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは他の製品に使用しないでください。

（次ページに続く）

4 **充電が開始され、バッテリーランプが橙点灯する**

充電は約 3.5 時間で完了します。（電池残量がない状態から充電した場合）

充電が完了すると、バッテリーランプが消灯します。



5 **バッテリーランプが消灯して充電が完了したら、AC アダプタの接続を取り外す**

!

充電開始後 5 時間以上たっても充電が完了しない場合は、バッテリーランプが赤点灯します。（充電異常）

その場合は、いったん AC アダプタを外してから、もう一度、AC アダプタを接続して充電してください。

それでもバッテリーランプが赤点灯する場合は、機器の故障の可能性があります。別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。

充電時間

AC アダプタでの充電時間（電池残量がない状態から満充電となるまで）：約 3.5 時間

動作時間

充電完了後の WLAN モードでの電池動作時間は、約 2.5 時間となります。

充電池パックの充電状態、気温などの使用環境、利用場所の電波状態などにより、利用時間は変わります。

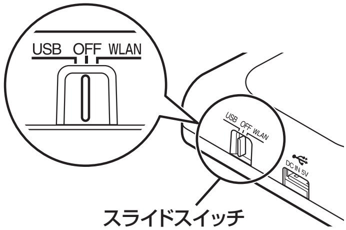
2-3 充電池パックを交換する

充電しても使える時間が短くなった場合は、新しい充電池パックに交換してください。
充電池パックの交換は、下記の手順で行ってください。

充電池パックの交換のしかた

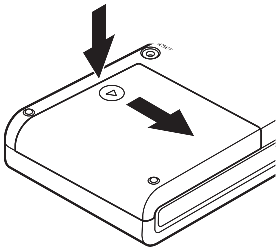
AC アダプタが接続されている場合は、取り外してから、下記の手順を行ってください。

1 本商品のスライドスイッチを「OFF」にする

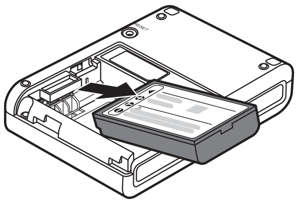


2 充電池カバーを取り外す

押しながら、矢印の方向にスライドさせます。



3 古い充電池パックを取り出す



4 交換用の充電池パックを奥までスライドさせ、押し込む

WM3310R と充電池パックの端子部を合わせてください。

5 充電池カバーを取り付ける

充電池パックは、工場出荷の時点では充電されていません。本商品に取り付けたあと、充電してください。(☛P2-3)

お知らせ

- 充電池パックの寿命は、お客様のご利用環境により変わります。いざという場合に備えて、早めの交換をお勧めします。
- 充電池パックは、オプション品として販売しております。詳しくは、お申し込みまたは購入された販売店にお問い合わせください。

●充電池パックのリサイクルについて

本充電池パックは、リチウムイオン電池です。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。不要になったリチウムイオン電池は廃棄せず、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って、ご購入いただいた販売店またはリサイクル協力店へお持ちください。

※ 充電式電池のリサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人 JBRC ホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

●充電池パックのリサイクル時のご注意

・充電池パックはショートしないようにしてください。火災・感電の原因となります。
・充電池パックの外装ラベルや外装をはがさないでください。
・充電池パックを分解しないでください。

3 USB モードで使用する

3-1 USBモードに設定する

本商品のUSBポートに、USBケーブル経由でパソコンを接続することで、WiMAXデバイスとして使用できます。

> 本商品をUSBモードではじめてご利用になる場合は､｢つなぎかたガイド｣を参照して､ユーティリティとドライバのインストールおよびネットワーク接続設定を行ってください。

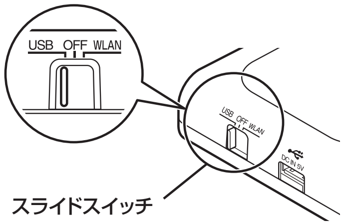
本商品をUSBモードにすると、WiMAXモバイルルータ機能が停止します。

USBモードに設定する

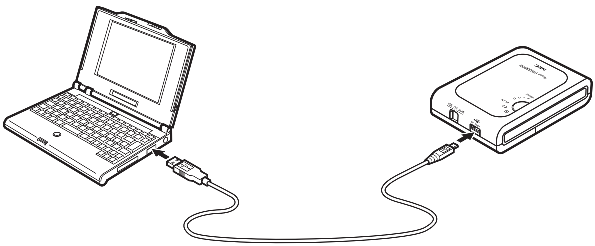
次の手順でUSBモードに設定します。

1 パソコンの電源を切る

2 本商品のスライドスイッチを「USB」にする



3 本商品のUSBポートとパソコンのUSBポートをUSBケーブル（添付品）で接続する



4 パソコンの電源を入れる

ネットワークに接続する場合は、WiMAX Connection Utilityを起動して（☛P3-5）接続してください。

お願い

●WiMAX による通信機器を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（ETHERNET ポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、1 台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは 1 つだけにしてください。
※ UQ コミュニケーションズ株式会社の UD01NA、UD02NA、UD03NA、UD04NA、NEC アクセステクニカ製 AtermWM3200U、WM3210U、WM3200C、WM3300R との同時利用もできません。あらかじめ UD01NA、UD02NA、UD03NA、UD04NA、AtermWM3200U、WM3210U、WM3200C、WM3300R の WiMAX Connection Utility をアンインストールしてください。（2010 年 9 月現在）
手順は、それぞれの製品のマニュアルをお読みください。

●マルチユーザーで使用する場合、一方のユーザーが本商品を使用中のときは、他方のユーザーは使用できません。

●USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。
なお、対応しているすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。動作確認済みのパソコンは別紙に記載のホームページでご覧ください。
本商品の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。

●USB コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。

●本商品を USB ケーブル経由でパソコンに取り付けた状態でスタンバイ（サスペンド / レジューム）または休止（ハイバネーション）を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず USB ケーブルを取り外してから、スタンバイ（サスペンド / レジューム）または休止（ハイバネーション）を行ってください。
また、本商品を USB ケーブル経由でパソコンに取り付けた状態で再起動や電源を入れると、正常に動作しない場合があります。この場合、パソコンを起動する前に USB ケーブルを取り外してください。

●USB インタフェースに本商品を USB ケーブル経由で接続した場合、電力不足となり、お使いいただけない場合があります。

●ドライバとユーティリティのインストールが正しく完了したあと、本商品を USB ケーブル経由でパソコンに取り付けても動作しない場合は、いったん USB ケーブルを取り外したうえで約 5 秒以上待ってから再度取り付けてください。（お使いのパソコンや環境によっては、約 5 秒待ってから取り付けても正しく認識できない場合があります。その場合は、さらに時間をおいて再度取り付けてください。）

●必ず添付の USB ケーブルをご使用ください。他の USB ケーブルを使用されますと、正常に動作しない場合があります。

お知らせ

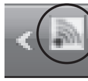
●WLAN モードから USB モードに切り替えた場合は、今まで接続していた無線 LAN 端末（子機）との通信が切断されます。

●USB モードの場合は、パソコンからの給電で動作します。なお、パソコンからの USB 充電はサポート対象外です。本商品を使用しない場合は、パソコンから USB ケーブルを外してください。

WM3310R をパソコンから取り外すとき

USB ケーブルで接続した WM3310R をパソコンから取り外すときは、以下の手順で WM3310R を取り外せる状態にしてから取り外してください。

< WiMAX Connection Utility を起動している場合＞



① 通知領域（タスクトレイ）にある WiMAX Connection Utility のアイコンをダブルクリックし、［メニュー］－［取り外し］を選択する
※ WiMAX Connection Utility のアイコンを右クリックして、［取り外し］を選択する方法もあります

②「ハードウェアの取り外し‘WM3310R WiMAX Network device’はコンピュータ（コンピューター）から安全に取り外すことができます。」が表示されたら、 をクリックして画面を閉じる

③ USB ケーブルで接続した WM3310R を取り外す

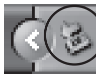
< WiMAX Connection Utility を起動していない場合＞

① 通知領域（タスクトレイ）にあるハードウェアアイコンをクリックする

【Windows Vista® の例】
（Windows® 7 も同様です。）



【Windows® XP の例】



② ［WM3310R WiMAX Network device を安全に取り外します］をクリックする
（Windows® 7 の場合は、［WM3310R WiMAX Network device の取り出し］をクリックする。）

③「このデバイスはコンピュータから安全に取り外すことができます。」が表示されたら［OK］をクリックして画面を閉じる
（Windows® 7/XP の場合は「ハードウェアの取り外し‘WM3310R WiMAX Network device’は（コンピューターから）安全に取り外すことができます。」が表示されたら、 をクリックして画面を閉じる）

④ USB ケーブルで接続した WM3310R を取り外す

3-2 *WiMAX Connection Utility の使い方*

通知領域（タスクトレイ）にある WiMAX Connection Utility のアイコンをダブルクリックすると、WiMAX Connection Utility のメイン画面が表示されます。

※ WiMAX Connection Utility のアイコンを右クリックして［メイン画面］を選択しても表示できます。

ここでは、WiMAX Connection Utility で行える項目について説明しています。

> **！**
>
> **WiMAX Connection Utility の起動のしかた**
>
> ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［WM3310R ユーティリティ］－［Connection Utility］をクリックして起動します。
>
> ※ デスクトップに表示されるショートカットアイコン をダブルクリックしても起動できます。

＜ WiMAX Connection Utility メイン画面＞



「ケーブルプラス WiMAX」とは、KDDI の登録商標です。
KDDI のサービスを利用した通信事業者が提供する WiMAX サービスの総称です。

■接続／切断／キャンセル

ネットワークの接続状態により、ボタン表示が変わります。

＜ネットワーク接続前＞



ネットワークに接続する場合は［接続］をクリックします。（※）

＜ネットワーク接続中＞



ネットワーク接続を中止したい場合は［キャンセル］をクリックします。

＜ネットワーク接続後＞



ネットワーク接続を切断する場合は［切断］をクリックします。

（※）接続方法が「自動接続」の場合（初期値）、WiMAX Connection Utility を起動した際は、自動的にネットワークに接続するため［接続］の表示はグレーアウトして選択できません。

■メニュー

[通信履歴]

通信履歴を表示します。



[取り外し]

WM3310R をパソコンから取り外せる状態にします。
取り外しの手順は、P3-4 を参照してください。

[終了]

ネットワークを切断して、WiMAX Connection Utility を終了します。
（通知領域（タスクトレイ）から WiMAX Connection Utility のアイコンが消えます。）

■設定

[設定]

ユーティリティの設定とネットワークの接続先および接続方法を設定することができます。
設定したい項目を選択したあと、[OK] をクリックしてください。



＜ユーティリティ設定＞

「PC 起動時にユーティリティを自動起動する」（初期値：有効）

→パソコンを起動したとき、WiMAX Connection Utility が自動的に起動されます。

「接続後、自動でタスクトレイに格納する」（初期値：有効）

→ネットワーク接続が完了すると、メイン画面を非表示にして通知領域（タスクトレイ）に登録します。

「自動的に最新バージョンの確認を行う」（初期値：有効）

→ネットワーク接続が完了すると、自動的に最新のソフトウェアバージョンの有無を確認します。

（次ページに続く）

＜接続先オペレータ＞

ネットワークの接続先を設定します。（初期値：ケーブルプラス WiMAX）

「ケーブルプラス WiMAX」

→地域周波数エリアのみをサーチして接続します。

「UQ WiMAX」

→ UQ 周波数エリアのみをサーチして接続します。

※「UQ WiMAX」を選択した場合、サービス事業者とのご契約以外に、別途利用料金がかかります。

＜接続方法＞

ネットワークへの接続方法を設定します。（初期値：自動接続）

※接続先に「UQ WiMAX」を選択した場合、接続方法は「手動接続」のみのため、表示はグレーアウトして選択できません。

「手動接続」

→ WiMAX Connection Utility を起動したあと、手動でネットワークに接続します。

「自動接続」

→ WiMAX Connection Utility を起動したときに自動的にネットワーク接続します。

[ソフトウェアアップデート]

[ソフトウェアアップデート］をクリックすると、WiMAX Connection Utility の最新バージョンの有無が確認できます。

※ソフトウェアアップデートを行う際は、管理者権限が必要となります。

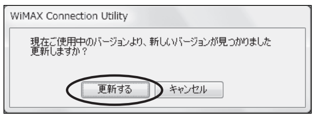
＜最新バージョンが無かった場合＞



上記の画面が表示された場合は既に最新バージョンをご使用中です。

[OK］をクリックしてください。

＜最新バージョンがあった場合＞



上記の画面が表示された場合は、最新バージョンに更新することができます。

下記の手順で更新します。

① 上記画面で［更新する］をクリックする

② 下記の画面が表示されたら、［修正］を選択して［次へ］をクリックする



③［完了］をクリックする

■ヘルプ

[ヘルプ]

ご不明な点についての解決方法を検索できます。

[デバイス情報]

WM3310R についての情報を表示します。

[バージョン情報]

WiMAX Connection Utility のバージョン情報などを表示します。

ドライバおよびユーティリティをアンインストール（削除）するには

WM3310R のドライバおよびユーティリティを正常にインストールできなかった場合や、パソコンを WM3310R のドライバおよびユーティリティをインストールする前の状態に戻したい場合は、WM3310R のドライバおよびユーティリティをアンインストール（削除）してください。

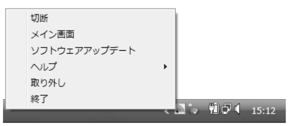
① WM3310R を取り外す（☛P3-4）
② ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［WM3310R ユーティリティ］－［Connection Utility のアンインストール］をクリックする
③ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[許可] または [はい] をクリックする
④ ［はい］をクリックする



⑤ ［完了］をクリックする

お知らせ

●通知領域（タスクトレイ）にある WiMAX Connection Utility のアイコンを右クリックするとポップアップメニューが表示されます。
こちらでもメイン画面と同様の操作が行えます。
（ただし、［設定］と［通信履歴］は、メイン画面でのみの操作となります。）



3-3 全国バンド切り替え機能を使って接続する

本商品は、地域 WiMAX のエリア外になった場合でも、全国バンド切り替え機能を使って、全国バンドエリア内（UQ WiMAX サービスエリア内）で接続できます。
本機能は、USB モードのみ利用できます。

UQ WiMAXサービスのご利用については、ご契約のWiMAX事業者にご確認ください。

お知らせ

- 初期起動時は、自動的にケーブルプラス WiMAX に接続します。
- UQ WiMAX サービスを利用される場合は、別途利用料金がかかります。

1 通知領域に（タスクトレイ）にある WiMAX Connection Utility のアイコンをダブルクリックし、WiMAX Connection Utility のメイン画面を表示する

2 メイン画面の［設定］を開く



3 「接続先オペレータ」から「UQ WiMAX」を選択する



4 ［OK］をクリックする

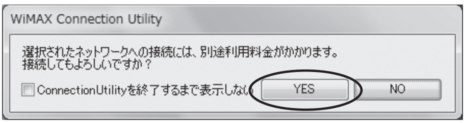
5 メイン画面が表示されたら、[UQ WiMAX] が選択されているのを確認し、[接続] をクリックする



6 接続確認の画面が表示されるので、メッセージを確認し、[YES] をクリックする

接続確認の画面を一時的に表示したくない場合は、画面上のチェックボックスを「有効」にして [YES] を選択してください。なお、この画面は Connection Utility が起動中のみ有効となりますので、パソコンの再起動や Connection Utility を再起動した場合は、再設定が必要です。

※ [NO] を選択した場合、メイン画面に戻ります。



7 しばらくすると、ネットワークの接続が完了する



MEMO

4 WLAN モードで使用する

4-1 WLAN モードに設定する

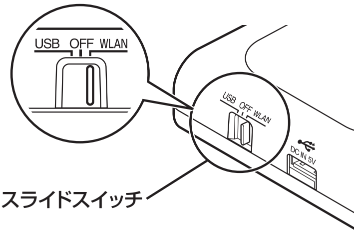
本商品を WLAN モードにすると、WiMAX モバイルルータとして使用できます。
本商品には、無線 LAN で接続します。
WLAN モードで使用する場合は、必ず充電池パックを取り付けてください。AC アダプタ装着状態でもご利用いただけます。
無線 LAN の接続については、「つなぎかたガイド」の STEP4「本商品に無線接続しよう（WLAN モード)」を参照してください。

WLAN モードに設定する

次の手順で WLAN モードに設定します。

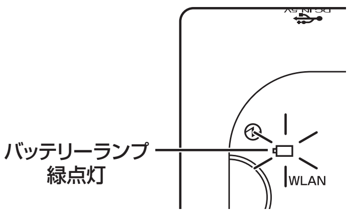
> **!**
> USB モードから WLAN モードに切り替える場合は、あらかじめ本商品とパソコンを接続していた USB ケーブル（添付品）を取り外してください。

1 本商品のスライドスイッチを「WLAN」にする



2 しばらくして（約 30 秒)、バッテリーランプが緑点灯していることを確認する

バッテリーランプが緑点滅または消灯している場合は、「2-2 充電する」(☛P2-3) を参照して、充電池パックを充電してください。



➡ 「つなぎかたガイド」の STEP4「本商品に無線接続しよう（WLAN モード)」を参照して、無線 LAN の接続を行ってください。
なお、Windows Vista® および Windows® 7/XP の無線 LAN 内蔵パソコンから「ワイヤレスネットワーク接続」で接続する場合は、P4-3 を参照してください。
無線 LAN 内蔵のゲーム機の場合は、P4-26 を参照してください。

4-2 Windows Vista® および Windows® 7/XP の「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する

無線 LAN 内蔵パソコンが Windows Vista® および Windows® 7/XP の場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワーク接続」で無線設定を行うことができます。

「ワイヤレスネットワーク接続」は、本商品の暗号化モード設定が「暗号化無効」または「WEP（64bit、128bit)」、「TKIP ※」、「AES ※」の場合に、ご利用いただけます。

※：TKIP、AES は、Windows Vista® または Windows® 7/XP（Service Pack 2 または 3）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

無線 LAN 内蔵パソコンの取扱説明書にしたがって無線スイッチを入れ、次の手順で設定してください。

① 設定する

「ワイヤレスネットワーク接続」の接続画面で本商品のネットワーク名（SSID）を選択して接続し、本商品の暗号化キーを入力してください。設定手順は下記を参照してください。

※暗号化キーを入力する際は、大文字を小文字で入力すると通信できませんので、ご注意ください。（大文字はシフトキーを押しながら入力します。）

- **Windows Vista® の場合（☛P4-4）**
- **Windows® 7 の場合（☛P4-10）**
- **Windows® XP（Service Pack 2 または 3）の場合（☛P4-17）**
- **Windows® XP（Service Pack 1）の場合（☛P4-21）**

② 本商品との通信状態を確認する（☛P4-25）

お知らせ

●設定の際に画面に出てくる「ネットワークキー」、「パスフレーズ」、「パスワード」とは、暗号化キーのことです。

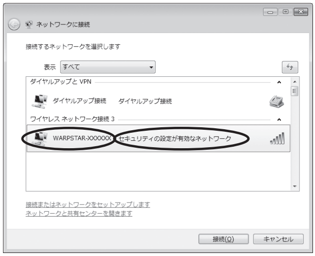
Windows Vista® の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit）、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［ネットワークに接続］をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2 本商品のネットワーク名（SSID）をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する

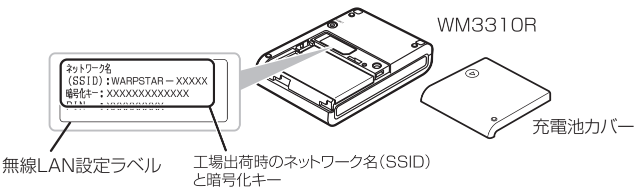


・「セキュリティの設定が有効なネットワーク」と表示されている場合
　→<u>＜本商品に暗号化が設定されている場合＞</u>（☛P4-5）へ
・「セキュリティの設定が有効でないネットワーク」と表示されている場合
　→<u>＜本商品に暗号化が設定されていない場合＞</u>（☛P4-6）へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN 設定ラベル*に記載されています。

→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末（子機）から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。（セカンダリ SSID は、無線 LAN 設定ラベル*に記載されている「ネットワーク名（SSID）」の末尾に「-W」がついたものです。）

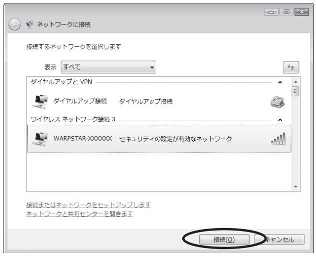
＊無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に貼付しています。



※本商品のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［接続またはネットワークをセットアップします］をクリックして「手動で設定する場合」（☛P4-7）の手順 2 へ進みます。

＜本商品に暗号化が設定されている場合＞

3　［接続］をクリックする

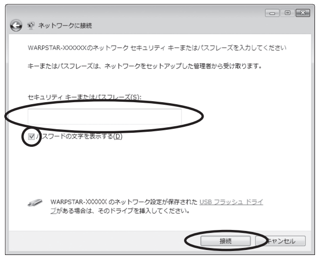


※接続に失敗した場合は、［閉じる］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①［ネットワークと共有センター］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
②接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
③［OK］をクリックする
④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順1（☛P4-4）から接続し直してください。

4　［セキュリティ キーまたはパスフレーズ］に暗号化キーを入力して、［接続］をクリックする

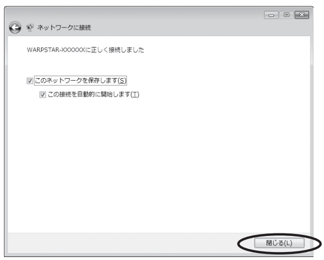


※「パスワードの文字を表示する」にチェックを入れると、パスワードが確認できます。

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に記載されています。（☛P4-4）なお、大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。（大文字はシフトキーを押しながら入力します。）

※本商品の暗号化設定で、暗号化キー番号の２～４番を使用している場合は、［キャンセル］をクリックして、「手動で設定する場合」（☛P4-7）へ進みます。

5　［閉じる］をクリックする



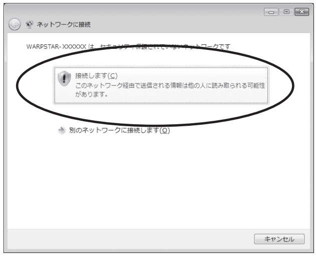
本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」（☛P4-25）で確認してください。

<本商品に暗号化が設定されていない場合>

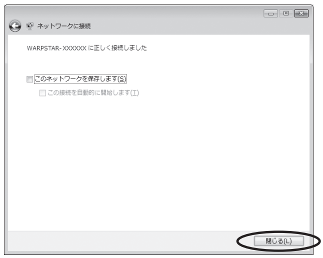
3 [接続] をクリックする



4 [接続します] をクリックする



5 [閉じる] をクリックする



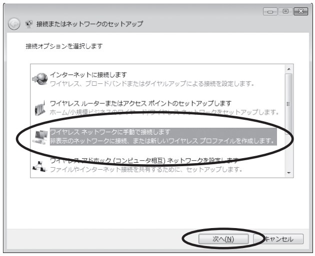
本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☛P4-25)で確認してください。

●手動で設定する場合

1　[スタート]（Windows® のロゴボタン）ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして［ネットワークと共有センター］ー［接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする方法もあります。

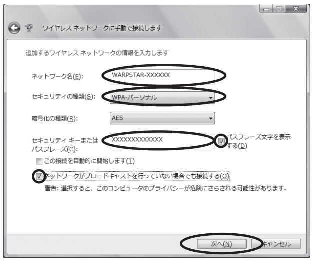
2　［ワイヤレスネットワークに手動で接続します］を選択し、[次へ］をクリックする



3　表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に記載されています。(☛P4-4)

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉



①［ネットワーク名］で本商品のネットワーク名（SSID）を入力する
②［セキュリティの種類］で［WPA- パーソナル］または［WPA2- パーソナル］を選択する
③［暗号化の種類］で［TKIP］または［AES］を選択する
④［セキュリティ キーまたはパスフレーズ］に本商品の暗号化キーを入力する
　※［パスフレーズ文字を表示する］にチェックを入れると、パスワードが確認できます。
　※暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。なお、大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。（大文字はシフトキーを押しながら入力します。）
　※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。
　【8 ～ 63 桁の場合】英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>]</td><td>{</td><td></td></tr>
</table>

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

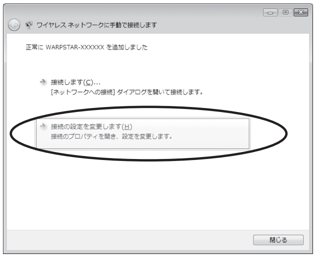
　【64 桁の場合】16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）
⑤［この接続を自動的に開始します］のチェックを外す
⑥本商品で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、［ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる
⑦［次へ］をクリックする

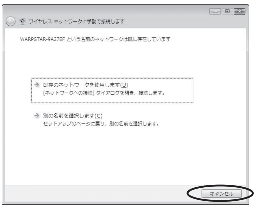
（次ページに続く）

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク名］で本商品のネットワーク名（SSID）を入力する
②[セキュリティの種類］で［WEP］を選択する
③[セキュリティ キーまたはパスフレーズ］に本商品の暗号化キーを入力する
ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合
・ 16 進数の場合：
0 ～ 9・A ～ F で 10 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
0 ～ 9・A ～ F で 26 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合
④[この接続を自動的に開始します］のチェックを外す
⑤本商品で ESS-ID ステルス機能(SSID の隠蔽)を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する］のチェックを入れる
⑥[次へ］をクリックする

4 [接続の設定を変更します］をクリックする

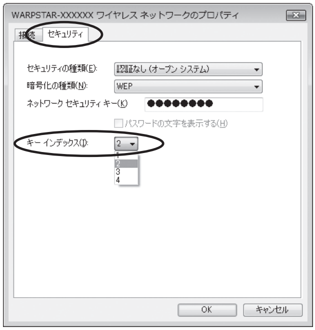




上の画面が表示された場合は、[キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。
①[ネットワークと共有センター]－[ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
②接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、[ネットワークの削除］をクリックする
③[OK］をクリックする
④[ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる
上記の手順が完了したら、P4-7の手順 1 から接続し直してください。

5 **［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する**

※暗号化モードで WEP を使用する場合は、［キーインデックス］で本商品に設定したキー番号を選択します。

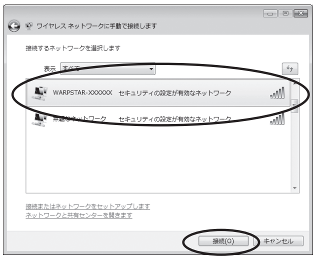


※画面は、暗号化モードで WEP を使用する場合の例です。

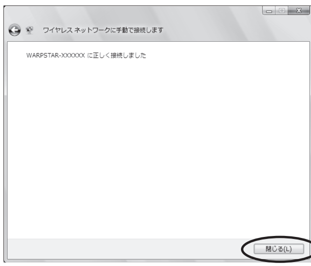
6 **［OK］をクリックする**

7 **［接続します］をクリックする**

8 **本商品のネットワーク名（SSID）を選択し、［接続］をクリックする**



9 **［閉じる］をクリックする**



以上で本商品との無線設定は完了です。

本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」（☛P4-25）で確認してください。

Windows® 7 の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit）、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする

※［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

2 本商品のネットワーク名（SSID）にカーソルを合わせ、「セキュリティの種類」の表示を確認する

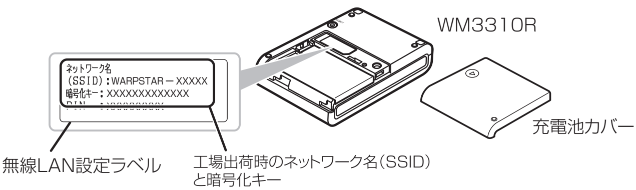


- **セキュリティが設定されている場合（「WEP」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」など）**
  →＜本商品に暗号化が設定されている場合＞（☛P4-11）へ
- **「セキュリティの設定が無効」と表示されている場合**
  →＜本商品に暗号化が設定されていない場合＞（☛P4-12）へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN 設定ラベル*に記載されています。

→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末（子機）から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。（セカンダリ SSID は、無線 LAN 設定ラベル*に記載されている「ネットワーク名（SSID）」の末尾に「-W」がついたものです。）

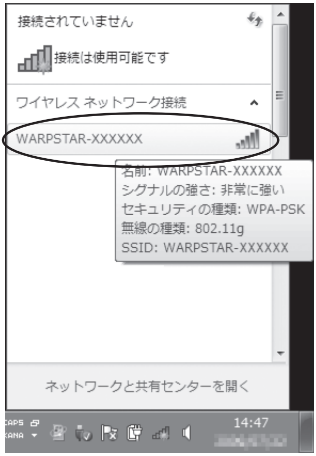
＊無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に貼付しています。



※本商品のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［ネットワークと共有センターを開く］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックして「手動で設定する場合」（☛P4-13）の手順 2 へ進みます。

＜本商品に暗号化が設定されている場合＞

3　本商品のネットワーク名（SSID）をクリックする



4　［接続］をクリックする

※接続に失敗した場合は、［閉じる］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①［ネットワークと共有センターを開く］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする

②接続するネットワーク名（SSID）を選択して右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする

③［はい］をクリックする

④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順1（☛P4-10）から接続し直してください。

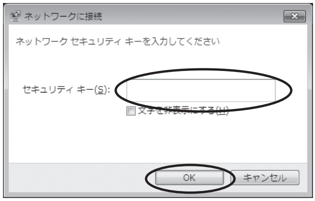


（次ページに続く）

5 ［セキュリティ キー］に暗号化キーを入力して、［OK］をクリックする

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に記載されています。(☛P4-10)
なお、大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。（大文字はシフトキーを押しながら入力します。）

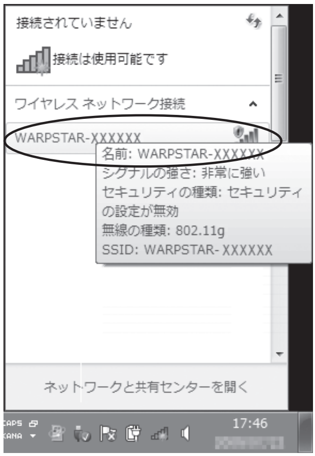
※本商品の暗号化設定で、暗号化キー番号の２～４番を使用している場合は、［キャンセル］をクリックして、「手動で設定する場合」（☛P4-13）へ進みます。



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」（☛P4-25）で確認してください。

<本商品に暗号化が設定されていない場合>

3 本商品のネットワーク名（SSID）をクリックする



4 ［接続］をクリックする



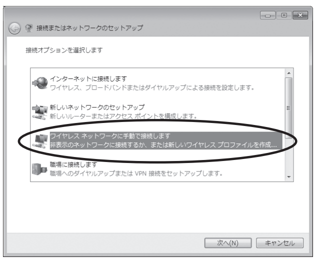
本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」（☛P4-25）で確認してください。

●手動で設定する場合

1 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、［ネットワークと共有センターを開く］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする

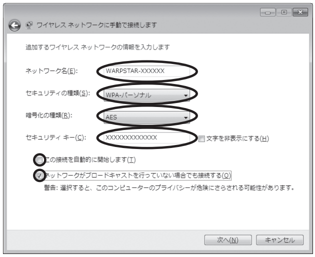
※［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［新しい接続またはネットワークのセットアップ］をクリックする方法もあります。

2 ［ワイヤレスネットワークに手動で接続します］を選択し、［次へ］をクリックする



（次ページに続く）

3 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う



※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に記載されています。(☛P4-10)

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

①[ネットワーク名]で本商品のネットワーク名（SSID）を入力する
②[セキュリティの種類]で［WPA- パーソナル］または［WPA2- パーソナル］を選択する
③[暗号化の種類]で［TKIP］または［AES］を選択する
④[セキュリティ キー]に本商品の暗号化キーを入力する
※暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。なお、大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。（大文字はシフトキーを押しながら入力します。）
※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。
【8 ～ 63 桁の場合】英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>]</td><td>{</td><td></td></tr>
</table>

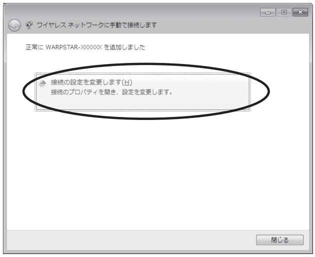
※「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

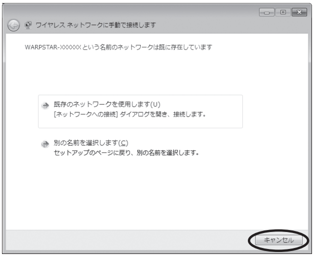
【64 桁の場合】16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）
⑤[この接続を自動的に開始します]のチェックを外す
⑥本商品で ESS-ID ステルス機能(SSID の隠蔽)を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]のチェックを入れる
⑦[次へ]をクリックする

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク名]で本商品のネットワーク名（SSID）を入力する
②[セキュリティの種類]で［WEP］を選択する
③[セキュリティ キー]に本商品の暗号化キーを入力する
ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合
・16 進数の場合：
0 ～ 9・A ～ F で 10 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
0 ～ 9・A ～ F で 26 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合
④[この接続を自動的に開始します]のチェックを外す
⑤本商品で ESS-ID ステルス機能(SSID の隠蔽)を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する]のチェックを入れる
⑥[次へ]をクリックする

4 ［接続の設定を変更します］をクリックする





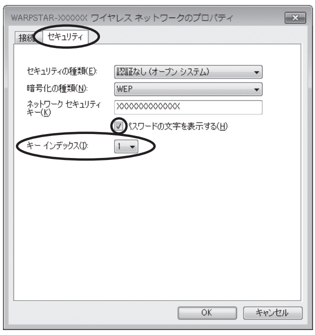
上の画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

①［ネットワークと共有センターを開く］－［ワイヤレスネットワークの管理］をクリックする
②接続するネットワーク名（SSID）をクリックして右クリックし、［ネットワークの削除］をクリックする
③［はい］をクリックする
④［ワイヤレスネットワークの管理］の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P4-13の手順1から接続し直してください。

5 ［セキュリティ］タブをクリックして設定内容を確認する

※［パスワードの文字を表示する］にチェックを入れると、パスワードが確認できます。
※暗号化モードで WEP を使用する場合は、［キーインデックス］で本商品に設定したキー番号を選択します。



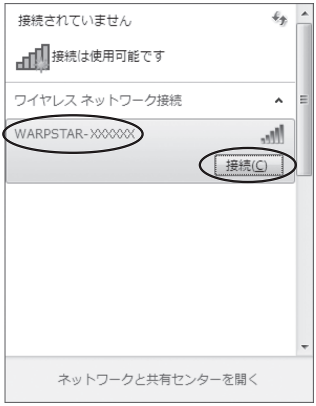
※画面は、暗号化モードで WEP を使用する場合の例です。

（次ページに続く）

6 ［OK］をクリックする

7 ［閉じる］をクリックする

8 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックして、本商品のネットワーク名（SSID）を選択し、［接続］をクリックする



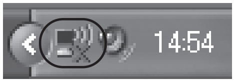
以上で本商品との無線設定は完了です。

本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☛P4-25)で確認してください。

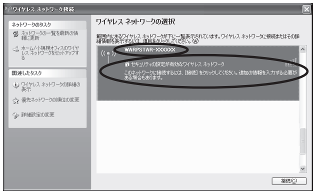
Windows® XP（Service Pack 2 または 3）の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit)、TKIP、AES です。
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。
なお下記は、Windows® XP（Service Pack 3）の画面を例に説明しています。

1　**パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする**

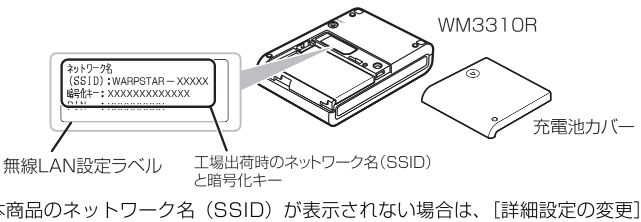


2　**本商品のネットワーク名（SSID）をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する**



・「セキュリティの設定が有効なワイヤレスネットワーク」と表示されている場合
　→＜本商品に暗号化が設定されている場合＞（☛P4-18）へ
・「セキュリティで保護されていないワイヤレスネットワーク」と表示されている場合
　→＜本商品に暗号化が設定されていない場合＞（☛P4-18）へ

※工場出荷時のネットワーク名（SSID）は、無線 LAN 設定ラベル*に記載されています。
　→WEP にのみ対応している無線 LAN 端末（子機）から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。（セカンダリ SSID は、無線 LAN 設定ラベル*に記載されている「ネットワーク名（SSID）」の末尾に「-W」がついたものです。）
　　＊無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に貼付しています。

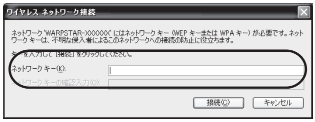


※本商品のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［詳細設定の変更］をクリックして、「手動で設定する場合」の手順 3（☛P4-19）へ進みます。それでも接続できない場合には、本商品で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除するか、無線 LAN 端末（子機）側の設定をサテライトマネージャで行ってください。

＜本商品に暗号化が設定されている場合＞

3 ［接続］をクリックする

4 ［ネットワークキー］に暗号化キーを入力して［接続］をクリックする



※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に記載されています。(☛P4-17)
なお、大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。（大文字はシフトキーを押しながら入力します。）

※本商品の暗号化設定で、暗号化キー番号の２～４番を使用している場合は、［キャンセル］をクリックして、「手動で設定する場合」（☛P4-19）へ進みます。

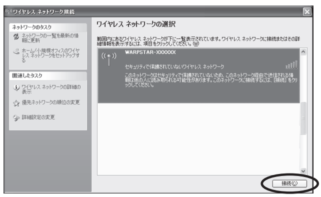
5 パソコン右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☛P4-25)で確認してください。

＜本商品に暗号化が設定されていない場合＞

3 ［接続］をクリックする



4 次の画面が表示された場合は、［接続］をクリックする



5 パソコン右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する

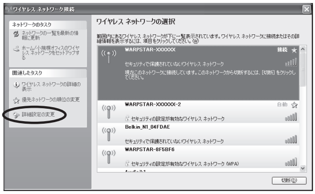


本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☛P4-25)で確認してください。

●手動で設定する場合

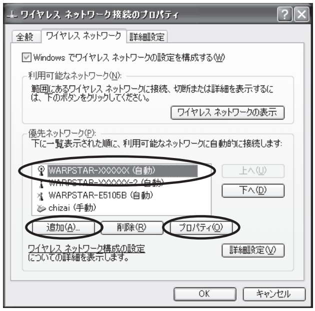
1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

2 ［詳細設定の変更］をクリックする



3 ［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックし、本商品のネットワーク名（SSID）をクリックして、［プロパティ］をクリックする

※ネットワーク名（SSID）が表示されていない場合は、［追加］をクリックする



4 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に記載されています。(☛P4-17)

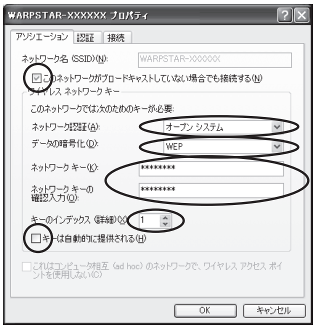
〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

①［ネットワーク認証］で［WPA-PSK］または［WPA2-PSK］を選択する

※［WPA2-PSK］は、［WPA2-PSK］に対応した無線 LAN 端末（子機）でのみ選択できます。

②［データの暗号化］で［TKIP］または［AES］を選択する

③［ネットワークキー］を入力し、同じものを［ネットワークキーの確認入力］に再入力する暗号化キーは半角で、8 ～ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。



※画面は、暗号化モードで WEP を使用するの場合の例です。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。（半角で入力します。）

【8 ～ 63 桁の場合】英数記号（0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、下記の記号）

<table>
<tr><td>!</td><td>%</td><td>)</td><td>-</td><td>;</td><td>@</td><td>^</td><td>|</td></tr>
<tr><td>”</td><td>&</td><td>*</td><td>.</td><td><</td><td>[</td><td>_</td><td>}</td></tr>
<tr><td>#</td><td>’</td><td>+</td><td>/</td><td>=</td><td>\</td><td>`</td><td>~</td></tr>
<tr><td>$</td><td>(</td><td>,</td><td>:</td><td>></td><td>]</td><td>{</td><td></td></tr>
</table>

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】16 進数（0 ～ 9、a ～ f、A ～ F）

④本商品で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、[このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する］のチェックを入れる
※Windows® XP（Service Pack 2）でこのチェックボックスがない場合は、本商品で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してください。

⑤[OK］をクリックする

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク認証］で［オープンシステム］を選択する

②[データの暗号化］で［WEP］を選択する

③[キーは自動的に提供される］のチェックを外す

④[ネットワークキー］を入力し、同じものを［ネットワークキーの確認入力］に再入力する

ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合

・16 進数の場合：
0 ～ 9・A ～ F で 10 文字：
本商品に 64bitWEP を設定している場合
0 ～ 9・A ～ F で 26 文字：
本商品に 128bitWEP を設定している場合

⑤本商品の暗号化キー番号の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する

⑥本商品で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合は、[このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する］のチェックを入れる
※Windows® XP（Service Pack 2）でこのチェックボックスがない場合は、本商品で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してください。

⑦[OK］をクリックする

5 ［OK］をクリックする

本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」（☛P4-25）で確認してください。

Windows® XP（Service Pack 1）の場合

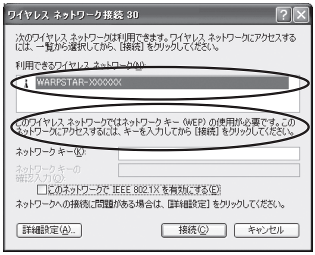
ご利用いただける暗号化モードは、WEP（64bit、128bit）です。（TKIP、AES はご利用になれません。）
なお、本商品で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）※を設定している場合は、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してください。

※ ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）は、本商品独自の機能です。Aterm 以外の無線 LAN 端末（子機）では、接続できない場合があります。

無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

1 **パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする**

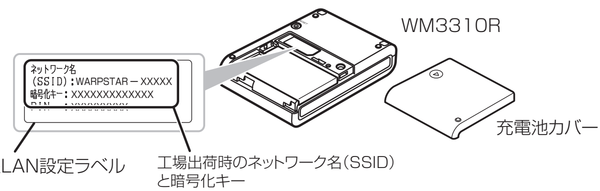
2 **WM3310R のネットワーク名（SSID）をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する**



・**「このワイヤレス ネットワークではネットワークキー（WEP）の使用が必要です。」と表示されている場合**
　→<u>＜本商品に暗号化が設定されている場合＞</u>（☛P4-22）へ

・**「⚠ このワイヤレス ネットワークはセキュリティで保護されていません。」と表示されている場合**
　→<u>＜本商品に暗号化が設定されていない場合＞</u>（☛P4-22）へ

※Windows® XP（Service Pack 1）は、WEP にのみ対応しておりますので、ネットワーク名（SSID）はセカンダリ SSID ＊を選択してください。
　＊工場出荷時のセカンダリ SSID は、無線 LAN 設定ラベル（下図参照）に記載されているネットワーク名（SSID）の末尾に「-W」がついたものです。（暗号化方式は 128bitWEP です。）



※ 本商品のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、［詳細設定］をクリックして「手動で設定する場合」の手順 3（☛P4-23）へ進みます。
　それでも接続できない場合には、本商品で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を解除してください。

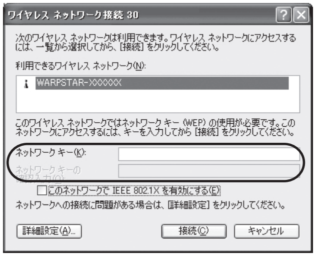
<本商品に暗号化が設定されている場合>

3 **［ネットワークキー］に暗号化キーを入力して［接続］をクリックする**

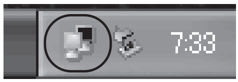
※［このネットワークで IEEE802.11x を有効にする］のチェック（□）は必ず外してください。

※工場出荷時の暗号化キーは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に記載されています。(☛P4-21)なお、大文字（ABCDEF）と小文字（abcdef）は区別されます。（大文字はシフトキーを押しながら入力します。）

※本商品の暗号化設定で、暗号化キー番号の２～４番を使用している場合は、［キャンセル］をクリックして、「手動で設定する場合」（☛P4-23）へ進みます。



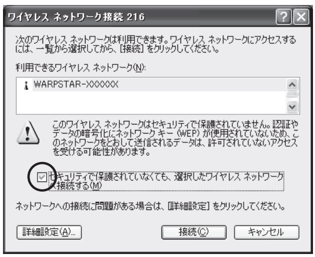
4 **パソコン右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する**



本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☛P4-25)で確認してください。

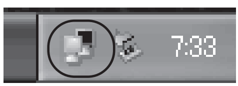
<本商品に暗号化が設定されていない場合>

3 **［セキュリティで保護されていなくても、選択したワイヤレス ネットワークへ接続する］にチェックを入れる**



4 **［接続］をクリックする**

5 **パソコン右下の通知領域（タスクトレイ）で正しく接続されたことを確認する**

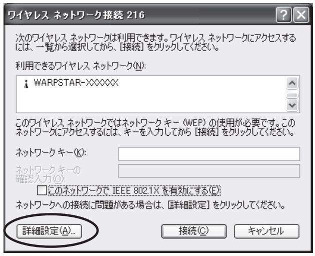


本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☛P4-25)で確認してください。

●手動で設定する場合

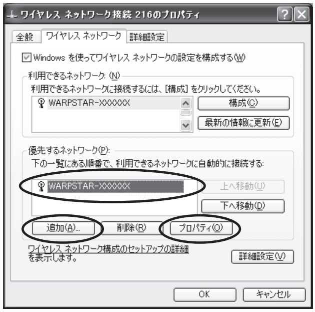
1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］をクリックする

2 ［詳細設定］をクリックする

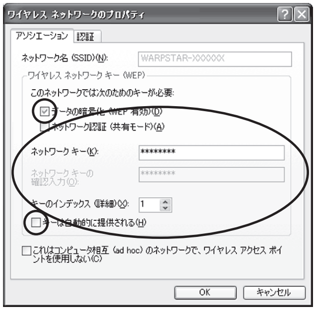


3 ［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックし、本商品のネットワーク名（SSID）をクリックして、［プロパティ］をクリックする

※ネットワーク名（SSID）が表示されていない場合は、［追加］をクリックする



4 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う



※本商品と同じ暗号化キーを入力してください。(☛P4-21)

①[データの暗号化]にチェックする

（画面に[ネットワークアソシエーション]・[データの暗号化]の項目が表示されている場合は、それぞれ「開いています」・「WEP」を選択する）

②[キーは自動的に提供される]のチェックを外す

③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII 文字 /16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ ASCII 文字の場合：
  英数字 5 文字：
  本商品に 64bitWEP を設定している場合
  英数字 13 文字：
  本商品に 128bitWEP を設定している場合
・ 16 進数の場合：
  0 ～ 9・A ～ F で 10 文字：
  本商品に 64bitWEP を設定している場合
  0 ～ 9・A ～ F で 26 文字：
  本商品に 128bitWEP を設定している場合

④本商品の暗号化キー番号の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する

⑤[OK]をクリックする

本商品との通信状態は、「本商品との通信状態を確認するには」(☛P4-25)で確認してください。

本商品との通信状態を確認するには

次の手順で通信状態を確認できます。

1　［スタート］（Windows® ロゴボタン）－［ネットワーク］－［ネットワークと共有センター］をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして［ネットワーク］をクリックする方法もあります。

※Windows® 7 の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、［ネットワークと共有センターを開く］をクリックします。

※Windows® XP の場合は、通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックします。

2　［状態の表示］をクリックする

※Windows® 7 の場合は、「ワイヤレスネットワーク接続」をクリックします。

※Windows® XP の場合は、［状態］をクリックし、［全般］タブをクリックします。



3　無線設定が正しく行われていることを確認する

- ［状態］が「有効」になっていること（Windows® XP の場合は、［接続］になっていること）
- ［速度］が表示されていること（表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。）



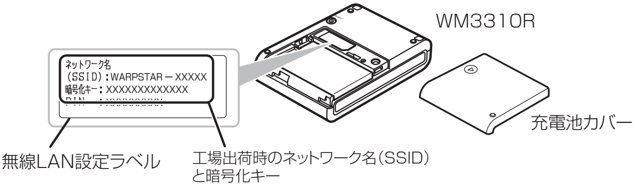
※画面は Windows Vista® の場合の例です。

4　［閉じる］をクリックする

4-3 無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する

本商品に無線 LAN 内蔵のゲーム機を接続することができます。
無線 LAN 設定ラベル*に記載されている無線設定をゲーム機側に設定してください。
設定方法については、各ゲーム機に添付の取扱説明書を参照してください。

＊無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に貼付しています。



● ゲーム機の説明書にしたがって内蔵無線を有効にしたら、本商品のネットワーク名（SSID）を選択して接続し、本商品の暗号化キーを入力してください。
　※設定の際に画面に出てくる「ネットワークキー」、「パスフレーズ」、「パスワード」とは、暗号化キーのことです。
　※暗号化キーを入力する際、大文字（ABCDEF）はシフトキーを押しながら入力します。大文字（ABCDEF）を小文字（abcdef）で入力すると通信できませんので、ご注意ください。

● ニンテンドー DS(ニンテンドー DS Lite 含む)は WEP にのみ対応しておりますので、ネットワーク名（SSID）は、セカンダリ SSID※を選択してください。暗号化キーは、無線 LAN 設定ラベル*に記載されている暗号化キーを設定してください。
　※セカンダリ SSID は、無線 LAN 設定ラベル*に記載されているネットワーク名（SSID）の末尾に「-W」がついたものです。（暗号化方式は 128bitWEP です。）
　なお、ニンテンドー DSi の場合は、AES、TKIP の暗号化方式で接続できる場合があります。詳しくはゲーム機の取扱説明書をご参照ください。

● らくらく無線スタートで設定することもできます。設定可能なゲーム機については、別紙に記載のホームページをご確認ください。

＜無線接続できるゲーム機＞
・Wii
・ニンテンドー DS（ニンテンドー DS Lite 含む）
・ニンテンドー DSi（ニンテンドー DSi LL 含む）
・「プレイステーション 3」
・PSP「プレイステーション・ポータブル」
・Xbox 360

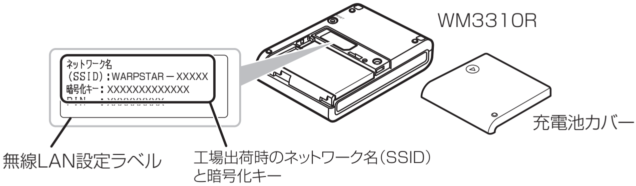
お知らせ

●ゲーム機のブラウザでクイック設定 Web を表示させる場合、セカンダリ SSID に無線接続していると※、クイック設定 Web は表示できません。（☛P1-4）その場合は、AES の暗号化モードに対応した無線 LAN 端末（子機）からプライマリ SSID に無線接続してクイック設定 Web を表示してください。
　※ ニンテンドー DS、らくらく無線スタートで設定した PSP の場合など。

4-4 無線LANでiPhone/iPod touch/iPadから接続する

本商品に無線 LAN で iPhone/iPod touch/iPad を接続することができます。
無線 LAN 設定ラベル*に記載されている無線設定を、iPhone/iPod touch/iPad 側に設定してください。
設定方法については、iPhone/iPod touch/iPad 側の取扱説明書などを参照してください。

＊無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に貼付しています。



1 **本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に貼付のラベルに記載されているネットワーク名（SSID）と暗号化キーをあらかじめメモを取っておく**

暗号化キーを変更されている場合は、変更後の暗号化キーになります。

2 **「ホーム」画面の「設定」アイコンをタップする**

3 **設定メニューの「Wi-Fi」をタップする**

4 **「Wi-Fi」ボタンが「オフ」になっている場合は、ボタンをタップして「オン」にする**

5 **周囲の無線 LAN アクセスポイントの一覧が表示されるので、手順 1 で確認したネットワーク名（SSID）をタップする**

6 **「パスワード」に手順 1 で確認した暗号化キーを入力し、「Join」ボタンをタップする**

本商品の暗号化キーの初期値は大文字です。大文字は左側の「⇧」ボタンをタップしてから文字をタップすると入力できます。数字を入力するときは、「.?123」ボタンをタップすると、数字のキーボードに切り替わります。

7 **設定が完了し、画面上部のステータスバーに Wi-Fi アイコンが表示される**

例



お知らせ

- 本商品の無線 LAN で、ESS-ID ステルスを設定している場合は、手順 5 で「その他」を選択し、ネットワーク名を直接入力し、「セキュリティ」をタップします。「その他」をタップしたあと、手順 6 へ進みます。ワイヤレスネットワークの一覧から選択していったん接続が完了した後に、本商品の ESS-ID ステルスを有効にすると iPhone/iPod touch/iPad を次に起動した際に接続できなくなりますのでご注意ください。その場合は、「その他」からネットワーク名を直接入力して再度設定を行ってください。
- 本商品に MAC アドレスフィルタリングを設定しているときは、いったん解除してから接続してください。接続が完了したあとに、iPhone/iPod touch/iPad の MAC アドレスを登録して有効にしてください。
- 設定手順は、iPhone/iPod touch/iPad の OS バージョンにより変更される場合があります。

4-5 クイック設定 Web のご利用について

WLAN モードでのさまざまな機能をご利用になる場合は、クイック設定 Web で設定します。
設定方法などの詳細は、別紙に記載のホームページに掲載されている「機能詳細ガイド」の「クイック設定 Web の使い方」を参照してください。

お知らせ

●クイック設定 Web が利用できる WWW ブラウザについては、「動作確認済みの WWW ブラウザ」(☛P4-29)を参照してください。
●説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。
●クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。

お願い

●クイック設定 Web の設定は、[設定]をクリックしたあと[保存]をクリックしてからでないと保存されません。
●クイック設定 Web を表示させる場合は、プライマリ SSID 式で無線接続してください。セカンダリ SSID に接続した場合、クイック設定 Web が表示できませんのでご注意ください。(☛P1-4)

クイック設定 Web をご使用になる前に

クイック設定 Web をご使用になる前に、以下を確認してください。

● WM3310R とパソコンとの無線接続

→「つなぎかたガイド」を参照して無線接続を完了させておいてください。
→ IP アドレスが正しく取得できているか確認してください。

＜ IP アドレスの確認方法＞

■ Windows Vista®/Windows® 7 の場合

① [スタート](Windows® のロゴボタン)－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[コマンドプロンプト]をクリックする
②「ipconfig」と入力して[Enter]キーを押す
③ IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する(XXX は 1 を除く任意の数字)

■ Windows® XP/2000 Professional の場合

① [スタート]－[すべてのプログラム](または[プログラム])－[アクセサリ]－[コマンドプロンプト]をクリックする
②「ipconfig」と入力して[Enter]キーを押す
③ IP アドレス(IP Address)が「192.168.0.XXX」になることを確認する(XXX は 1 を除く任意の数字)

■ Mac OS X の場合

以下は Mac OS X v10.4 Tiger の場合の例です。
① アップルメニューの[システム環境設定]を開き、[ネットワーク]アイコンを選択する
② [表示]を[AirMac]にして、[TCP/IP]タブをクリックする
③ IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する(XXX は 1 を除く任意の数字)

● JavaScript の設定

→ P1-16 を参照して、JavaScript の設定を有効に設定してください。

●動作確認済みの WWW ブラウザ

〈画面例〉



■ Windows Vista® の場合
Internet Explorer 7.0 に対応

■ Windows® 7 の場合
Internet Explorer 8.0 に対応

■ Windows® XP の場合
Internet Explorer 7.0 に対応
（Windows® XP Service Pack 2 または 3 の場合）
Internet Explorer 6.0 SP2 に対応
（Windows® XP Service Pack 2 の場合）
Firefox 2.0/3.0 に対応
Opera 9.0 に対応

■ Windows® 2000 Professional の場合
Internet Explorer 6.0 SP1 に対応
Firefox 2.0/3.0 に対応
Opera 9.0 に対応

■ Mac OS X v10.3/v10.4/v10.5 の場合
Safari 3.1 に対応（v10.5 Leopard の場合）
Safari 2.0 に対応（v10.4 Tiger の場合）
Safari 1.3 に対応（v10.3 Panther の場合）
Firefox 2.0/3.0 に対応
Opera 9.0 に対応

■ ゲーム系
PSP「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザに対応

※ PSP「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザをお使いの場合は、表示モードを標準またはジャストフィットでご利用ください。

※ PSP「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザをお使いの場合は、全角文字の指定できる最大文字数が他のブラウザと異なり、入力できる文字数は最大全角 21 文字です。

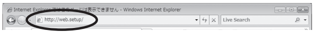
クイック設定 Web の起動のしかた

クイック設定 Web で設定を行う場合は、次の手順で起動します。

※ 事前に、本商品とパソコンの無線接続が完了していることを確認してください。

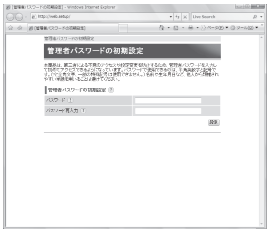
① パソコンなどを起動する

② WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く



※本商品の IP アドレスを入力して開くこともできます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）例：http://192.168.0.1/

③ 次の画面が表示された場合は、画面にしたがって管理者パスワード（任意の文字列）を決めて、下の控え欄に記入する
※この画面は、管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。

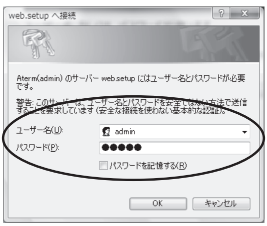


●管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本商品を初期化してすべての設定がやり直しになります。

管理者パスワード控え欄	

④ ③で控えた管理者パスワードを画面に入力し、［設定］をクリックする

⑤ ユーザー名とパスワードを入力する
※ユーザー名には「admin」と半角小文字で入力し、パスワードには③で控えた管理者パスワードを入力してください。



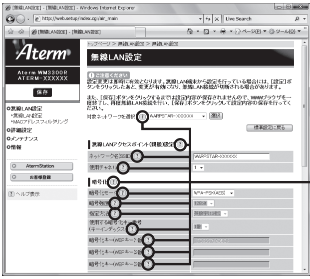
⑥ ［OK］をクリックする

⑦ クイック設定 Web が表示される

ポップアップヘルプについて

クイック設定 Web を開くと、各項目に ? のポップアップヘルプがあります。
このボタンをクリックすると、各設定項目の内容や、入力条件（文字数など）が表示されます。

〈画面例〉

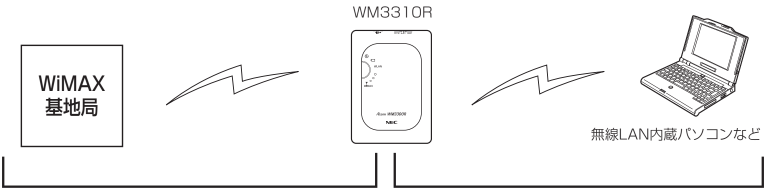


4-6 セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（WiMAX 網）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN 回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「無線 LAN 内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

セキュリティ対策の詳細については、「機能詳細ガイド」を参照してください。



WAN回線側セキュリティ機能

・IPパケット
　フィルタリング
・アドバンスドNAT
　(IPマスカレード／NAPT)
・不正アクセス検出機能
・ダイナミックポート
　コントロール機能

無線LAN内ネットワークセキュリティ機能

・暗号化※
・MACアドレスフィルタリング機能
・ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）
・ネットワーク分離機能

※ WM3310R は、工場出荷時の状態で、プライマリ SSID 側のネットワークには AES、セカンダリ SSID 側のネットワークには WEP (128bit)の暗号化が設定されています。
設定内容(初期値)は、無線 LAN 設定ラベルを参照してください。(無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に貼付しています。)

? セキュリティ対策を行うことの重要性について

● インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。
特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをお勧めします。

● 無線 LAN 端末（子機）による無線通信を行う場合は、無線 LAN 内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線 LAN 内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。
無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われることがあります。

4-7 便利な機能

VPN パススルー機能

VPN クライアントのソフトウェアを使って会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN（Virtual Private Network：仮想閉域網）に PPTP/IPsec で接続できます。
本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「Ⓦ機能詳細ガイド」を参照してください。

IP パケットフィルタリング

宛先／送信元 IP アドレスやポート番号、パケットの方向などを指定して、パケットの通過を制限する機能です。
不必要なパケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。
（☛ Ⓦ機能詳細ガイド）

ポートマッピング

あらかじめ固定的に使用するポート番号と転送先パソコンを指定することで、ネットワーク対応ゲームやストリーミングなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションの通信が使用できます。
（☛ Ⓦ機能詳細ガイド）

UPnP 機能

本商品とパソコンの UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）機能を利用して、TV 電話をするなど、パソコンの Windows Live Messenger、Windows Messenger の機能をご利用になることができます。
本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「Ⓦ機能詳細ガイド」を参照してください。
ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnP の設定をすることで、利用ができます。

らくらく無線スタート、らくらく無線スタート EX 搭載

らくらく無線スタートに対応できる子機やゲーム機などは、設定ボタン（らくらくスタートボタン）を押すだけで、無線 LAN やセキュリティ（暗号化）をかんたんに接続することができます。
らくらく無線スタート EX は、無線 LAN 内蔵パソコンまたは無線 LAN 端末（子機）で Windows Vista® および Windows® 7/XP（Service Pack 2 または 3）のワイヤレスネットワーク設定を使って設定している場合に使用できます。
（☛ Ⓦ機能詳細ガイド）

お知らせ

●UPnP 機能は、Windows Vista®、Windows® 7/XP のパソコンでのみご利用になれます。

4-8 ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、WM3310R に新しい機能を追加したり、場合によっては、WM3310R の操作を改善します。
[用語] ファームウェア:本商品を動かすために組み込まれているソフトウェアのことです。

!

ファームウェアのバージョンアップの際は、必ず添付の AC アダプタを本商品と電源コンセントに接続してください。

お願い

- ●ファームウェアのバージョンアップ中（約 1 分間）は絶対に WM3310R の電源を切らないでください。
- ●ファームウェアをバージョンアップするときは、そのあとでユーティリティも最新のものにバージョンアップしてください。
- ●お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
- ●バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

ファームウェアをバージョンアップする

設定ボタン（らくらくスタートボタン）によるバージョンアップ

本商品の POWER ランプが緑橙点滅（緑 3 秒、橙 0.5 秒間隔）した場合は、新しいファームウェアが存在しています。その場合、本商品の設定ボタン（らくらくスタートボタン）を使用してファームウェアの更新を行うことができます。

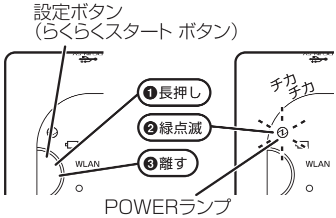
※ 本機能は、インターネットに接続されている必要があります。
※ 本機能は、「ファームウェア更新通知機能」の設定が「使用する」（初期値）に設定されている必要があります。（工場出荷時の状態では「使用する」に設定済みです。）
なお「ファームウェア更新通知機能」の設定は、クイック設定 Web の［詳細設定］－［その他の設定］－［補助設定］で行います。詳しくは、「機能詳細ガイド」を参照してください。

!

ファームウェアのバージョンアップの際は、必ず添付の AC アダプタを本商品と電源コンセントに接続してください。

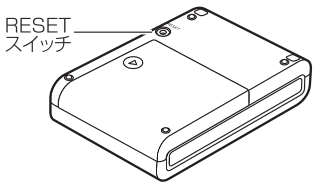
1　**設定ボタン（らくらくスタートボタン）を長押しし（約 6 秒）、POWER ランプが緑点滅になったら離す**

設定中は、他の無線接続はいったん切断されます。



2　**POWER ランプが緑点滅になってから 1 分以内に、細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で RESET スイッチを押す（約 1 秒）**

ファームウェアがバージョンアップされるている間は、POWER ランプが橙点灯します。緑点灯に変わったら、バージョンアップ完了です。



ファームウェアのワンタッチバージョンアップ

インターネットに接続された状態で、ホームページに新しいファームウェアが更新された場合に、クイック設定 Web のメニュー画面に［ファームウェア更新］のボタンが表示されます。

このボタンをクリックすることで、簡単にバージョンアップができます。

> **!**
> ファームウェアのバージョンアップの際は、必ず添付の AC アダプタを本商品と電源コンセントに接続してください。

※ 本機能は、インターネットに接続されている必要があります。
　また、サーバ側の負荷分散のために更新情報の検出が数週間遅れる場合があります。
本サービスは、予告なく変更あるいは終了する場合があります。
詳しくは、別紙に記載のホームページをご覧ください。

お知らせ

- ファームウェアのバージョンアップ情報がある場合は、インターネット上のホームページを開く際に、バージョンアップ情報が自動的に告知されますので、画面の指示にしたがって、本商品のバージョンアップを行うことができます。（ただし、自動告知画面が表示されるのは、開こうとするホームページの URL がホスト名の場合のみです。）
  表示される例：http://www.nec.co.jp/
  表示されない例：http://www.nec.co.jp/xxx_xxx

自動更新（オンラインバージョンアップ）

クイック設定 Web からファームウェアのバージョンアップを行うことができます。
本商品からインターネットに接続できている必要があります。

> **!**
>
> ファームウェアのバージョンアップの際は、必ず添付の AC アダプタを本商品と電源コンセントに接続してください。

1 **WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

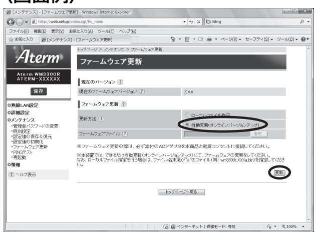
WM3310R の IP アドレスを入力しても開きます。
（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

2 **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする**

3 **「メンテナンス」の［ファームウェア更新］を選択する**

4 **［自動更新（オンラインバージョンアップ)］を選択する**

〈画面例〉



5 **［更新］をクリックする**

6 **次の画面が表示されるので、そのまましばらく待つ**



> **!**
>
> WM3310R の電源は、絶対に切らないでください。
> → スライドスイッチは「WLAN」のままにしてください。
> → AC アダプタは取り外さないでください。

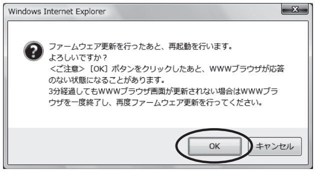
7 次の画面で、最新のファームウェアバージョンの数字が新しい場合は、［最新バージョンへ更新］をクリックする

「現在のバージョン」と「最新のバージョン」が同じ場合はここで終了です。［閉じる］をクリックして、クイック設定 Web を閉じます。

〈画面例〉



8 ［OK］をクリックする

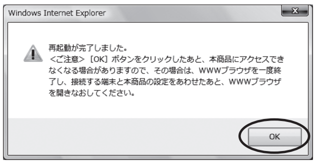


9 しばらくすると、クイック設定 Web 画面に「ファームウェア更新中です。1 分ほどお待ちください」と表示される

!

WM3310R の電源は、絶対に切らないでください。
→スライドスイッチは「WLAN」のままにしてください。
→ AC アダプタは取り外さないでください。

10 ［OK］をクリックする



ユーティリティとファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

ホームページから、ユーティリティやファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。

自動更新（オンラインバージョンアップ）にて、バージョンアップすることをお勧めします。（☛P4-36）

ダウンロードしたファームウェアでのバージョンアップ方法は「機能詳細ガイド」を参照してください。

> **!**
>
> ファームウェアのバージョンアップの際は、必ず添付の AC アダプタを本商品と電源コンセントに接続してください。

1 **別紙に記載のホームページにアクセスする**

2 **［ダウンロード］－［ソフトウェア］にて、お使いの機種を選択する**

3 **内容をよく読んでご利用になるファームウェアやユーティリティをダウンロードする**

4 **ユーティリティのバージョンアップの場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックする**

インストールが始まります。
詳細は、各ユーティリティのセットアップのページやホームページの説明をお読みください。

5 お困りのときには

5-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。
本書の他に、ホームページに掲載している電子マニュアル「Ⓦ機能詳細ガイド」（☛P2）の「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、WM3310R を初期化し（☛P5-13）、初めから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。（Ⓦ機能詳細ガイド）

・USB モードでのトラブル（☛P5-3）
・WLAN モードでのトラブル（☛P5-4）
・添付の CD-ROM に関するトラブル（☛P5-12）

USB モードでのトラブル

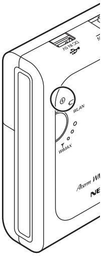
<table>
<tr><th colspan="2">症　状</th><th>原因と対策</th></tr>
<tr><td colspan="2">ユーティリティがインストールできない</td><td>●Administrator 権限のあるユーザーでログオンしていない。
→Administrator 権限のあるユーザーでログオンしてください。
●OS が対応していない。
→対応 OS は下記の通りです。
・Windows Vista® または Windows® XP（Service Pack 2 または 3）の日本語版かつ 32 ビット（x86）版
・Windows® 7 の日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版</td></tr>
<tr><td colspan="2">ネットワークに接続できない</td><td>●他のネットワークデバイスで通信していると、WiMAX による通信が行えないことがあります。
→WiMAX 以外の通信は切断してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td>WiMAX ランプが消灯していて、「WiMAX が見つかりません」と表示される</td><td>●サービスエリア外または電波が弱い可能性があります。画面に表示される電波状態を確認して、電波状態の良い場所に移動してください。
●接続方法が「手動接続」の場合（☛P3-8）は、しばらく待って、「WiMAX に接続準備完了です」と表示されたら、［接続］をクリックしてください。</td></tr>
<tr><td>WiMAX ランプが赤点灯または橙点灯している</td><td>●ネットワーク接続に失敗しました。
→表示される電波状態を確認して、電波状態の良い場所に移動してください。</td></tr>
<tr><td>WiMAX ランプが赤点灯していて、「サーバ証明書が正しくありません」と表示される</td><td>●ネットワーク接続のためのユーザー認証に失敗しました。
→別紙に示すお問い合わせ先へお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>WiMAX ランプが赤点灯していて、「デバイス証明書の読み込みに失敗しました」と表示される</td><td>●いったん WM3310R を取り外し（☛P3-4）、再度パソコンに接続してみてください。それでもネットワークに接続できない場合は、別紙に示すお問い合わせ先へお問い合わせください。</td></tr>
</table>

WLAN モードでのトラブル

● WM3310R の充電池パックに関するトラブル

症　状	原因と対策
バッテリーランプが速い緑点滅している	●充電池パックの電池残量が不足しています。AC アダプタを使用して充電してください。（☛P2-3）
バッテリーランプが赤点灯している	●充電開始後 5 時間以上たっても充電が完了しない場合は、バッテリーランプが赤点灯します。（充電異常） いったん AC アダプタを外してから、もう一度、AC アダプタを接続して充電してください。 それでもバッテリーランプが赤点灯する場合は、機器の故障の可能性があります。別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。
充電の際、バッテリーランプが橙点灯しない	●スライドスイッチが「USB」になっている場合は、充電されません。スライドスイッチを「OFF」にしてください。 ●充電池パックが取り付けられていません。 →充電池パックを取り付けてください。（☛P2-2）
充電池パックを入れても動作しない	●長時間放置し、長い間充電していない充電池パックを取り付けた時に、過放電保護のために WLAN モードで動作できないことがあります。 スライドスイッチを「OFF」にして AC アダプタを接続し、充電が完了してから、再度スライドスイッチを「WLAN」にしてください。
充電池パックでの動作が短い（寿命について）	●満充電されている場合は、新品の場合、約 2.5 時間の利用ができます。満充電時でも、約 1 時間程度の場合は、充電池パックの寿命が考えられますので、充電池パックのお取り替えをお勧め致します。 時間が短い場合でも、利用上に支障はありません。 ●充電池パックを保管するときは、次の事項に注意してください。 高温の環境下に放置しないでください。 満充電状態の電池を放置しておくと電池が劣化し、もう一度充電したときの容量が減少してしまいます。この劣化は、満充電で保管すると激しくなり、保存温度が高いほど劣化が早く進みます。
充電池パックでの動作時間が短い	●WLAN モードで充電すると、動作時は、電池に負担をかけないように 7 ～ 8 割の充電容量となります。 満充電したい場合は、スライドスイッチを「OFF」にして充電してください。 ●充電池パックの駆動時間は、温度の低い環境下では一時的に悪くなります。

● WM3310R の POWER ランプが消灯している

症　状	原因と対策
POWER ランプが消灯している 	電源が入っていません。 ●スライドスイッチが「OFF」になっている場合は、装置の給電が停止しています。 ●スライドスイッチが「USB」になっている場合は、POWER ランプは消灯します。
POWER ランプが消灯して、動作が停止する	●スライドスイッチが「WLAN」の場合、下記のような使用状況により、本体が高温になった場合は、自動的に動作を停止します。 ・ 直射日光に当たるところで使用した場合 ・ 高温下で充電しながら使用した場合 ・ かばんに入れて使用した場合 その場合、再度ご使用になるには、スライドスイッチをいったん「OFF」にして、本体温度が下がってから、スライドスイッチを元に戻してご使用ください。 ●スライドスイッチが「WLAN」の場合、電池にてご利用中に一定時間※以上通信が行われなかったときは、自動的に動作を停止します。その場合、再度ご使用になるには、スライドスイッチをいったん「OFF」にしてから、スライドスイッチを元に戻してご使用ください。 ※工場出荷時の状態では「10 分」に設定しています。この「無通信監視時間」は、クイック設定 Web の［詳細設定］－［その他の設定］の「自動電源 OFF 設定」で変更することができます。（WWW 機能詳細ガイド） 無線子機の検出状況によっては、設定している時間に対して、５分程度長くなる場合があります。

● 無線 LAN 通信ができない

症　状	原因と対策
WM3310R に接続できない	● WM3310R の動作モードが WLAN モードになっていることを確認する →側面のスライドスイッチを「WLAN」にしてください。 ● 暗号化キーの設定が WM3310R と無線 LAN 端末（子機）とで一致しているかを確認してください。（機能詳細ガイド） ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。 →ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている場合があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ① ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートをあける （アドレス：192.168.0. ＊、TCP ポート番号：23/53/75/80、UDP ポート番号：69/161） ② ①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする ●「らくらく無線スタートEXに関するトラブル」（☛P5-9）も参照してください。
WM3310R と無線 LAN 端末（子機）間の電波状態が悪い	● 電波の届く範囲まで無線 LAN 端末（子機）を移動したり、WM3310R や無線 LAN 端末（子機）の向きをかえたりして電波状態を確認してください。
セカンダリ SSID が見つからない	● IEEE802.11b に対応している無線 LAN 端末（子機）によっては、セカンダリ SSID をサーチできない場合があります。この場合、SSID を直接設定することにより、接続可能となります。 例）初期値の場合 プライマリ SSID：WARPSTAR-xxxxxx （無線 LAN 設定ラベル※に記載のネットワーク名（SSID）） セカンダリ SSID：WARPSTAR-xxxxxx-W （無線 LAN 設定ラベル※に記載のネットワーク名（SSID）の末尾に「-W」がついたもの） ※ 無線 LAN 設定ラベルは、本商品裏面の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に貼付しています。

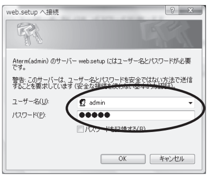
● パソコンに IP アドレスが設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが設定されていない	●パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも WM3310R の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記の手順で IP アドレスを取り直してください。 **< IP アドレスの再取得>** < Windows Vista®/Windows® 7 の場合> ①［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を右クリックし、［管理者として実行］をクリックする ②ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックする ③「ipconfig /release」と入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを解放する ④「ipconfig /renew」と入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字） < Windows® XP/2000 Professional の場合> ①［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /release」と入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを解放する ③「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを取り直す ④IP アドレス（IP Address）が「192.168.0.XXX」になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字） < Mac OS X の場合> 以下は Mac OS X v10.4 Tiger の場合の例です。 ①アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する ②［表示］で［ネットワークポート設定］を選択し、［AirMac］のチェックを外して、［今すぐ適用］をクリックする ③［AirMac］のチェックを入れて、［今すぐ適用］をクリックする ④［表示］を［AirMac］にして、［TCP/IP］タブをクリックし、IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字） ●無線LANをご利用の場合は、「無線LAN通信ができない」(☛P5-6) を参照して無線 LAN 通信を確立させてください。

● WiMAX に関するトラブル

症　状	原因と対策
WiMAX ランプが消灯または赤点灯している	●設定ボタン（らくらくスタートボタン）を押してみてください（1 秒以内）。WiMAX のネットワークに再接続します。接続処理中は WiMAX ランプが緑点滅し、接続されると緑点灯します。 ●サービスエリア外または電波が弱い可能性があります。アンテナランプで表示される WiMAX 電界強度表示を確認して、電波状態の良い場所に移動してください。 ●いったんUSBモードに設定して(☛P3-2)、WiMAXのネットワークに接続できることを確認してください。接続が確認できたら、再度 WLAN モードで無線接続してください。

● クイック設定 Web に関するトラブル

症　状	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	●プロキシの設定をしていませんか →プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ① ［ツール］－［インターネットオプション］－［接続］－［LAN の設定］の順にクリックする ② ［LAN にプロキシサーバーを使用する］の［詳細設定］をクリックして、例外に「web.setup」を入れる ●代わりに IP アドレスを入れても表示できます。 ●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(☛P1-12) ●無線接続してクイック設定 Web を表示させる場合、セカンダリ SSID に無線接続していると、クイック設定 Web は表示できません。(☛P1-4)その場合は、AESの暗号化モードに対応した無線 LAN 端末（子機）からプライマリ SSID に無線接続してクイック設定 Web を表示してください。
WM3310R のクイック設定 Web が開かない	●JavaScript が無効に設定されている →WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。(☛P1-16) ●IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。(☛P5-7)
WWW ブラウザで WM3310R にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求される 	●WWW ブラウザで WM3310R にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求されます。 →ユーザー名には、「admin」を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで WM3310R に最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。(☛P4-30)
管理者パスワードを忘れてしまった	●WM3310R を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。(☛P5-13) ただし、クイック設定 Web の「メンテナンス」－「設定値の保存＆復元」で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。(機能詳細ガイド)
WM3310R のバージョンを確認したい	クイック設定 Web で確認することができます。 「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。

症　状	原因と対策
ブラウザからの応答がなくなってしまった	●クイック設定 Web では、［設定］をクリックすると設定値は即時有効となりますので、［詳細設定］－［LAN 側設定］、または［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定］の変更では、［設定］をクリックするとブラウザからの応答がなくなる場合があります。その場合は､いったんクイック設定 Web を終了させてください。（無線 LAN 設定を変更した場合は、本商品と無線 LAN 端末（子機）との無線設定をし直して、接続を確立させてください。）その後､再度クイック設定Webを起動し(☛P4-30)､[保存]をクリックしてください。（本商品の IP アドレスを変更した場合は、再度クイック設定 Web を起動する際、変更した IP アドレスを入力してください。） なお、［保存］をクリックせず、本商品の電源を OFF したり、再起動したりすると、設定値が失われますのでご注意ください。

● らくらく無線スタート EX に関するトラブル

症　状	原因と対策
らくらく無線スタート EX が成功しない	●WM3310R の動作モードが WLAN モードになっていることを確認する →側面のスライドスイッチを「WLAN」にしてください。 ●WM3310R のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている →らくらくスタートボタンは、POWER ランプが緑点滅状態になったらいったん離します。「つなぎかたガイド」などの手順にしたがってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。 ●ドライバが正しく入っていない →詳細は、ご利用の無線 LAN 端末（子機）のメーカーにお問い合わせください。 ●らくらく無線スタート EX が正しくインストールされていない →添付の CD-ROM (ユーティリティ集)､または別紙に記載のホームページから最新のらくらく無線スタート EX をダウンロードしてインストールしてください。 ●WM3310R の暗号化が解除されている →WM3310R の暗号化設定を行ってください。（機能詳細ガイド） ●WM3310R の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている →WM3310R の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。（機能詳細ガイド） ●パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している →設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。 ●パソコンに設定された固定 IP アドレスが WM3310R のネットワーク体系とあっていない →パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。（☛P1-13） ●無線 LAN 端末（子機）専用の設定ユーティリティなどが動作している →無線 LAN 端末（子機）専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
らくらく無線スタートEXが成功しない （つづき）	●WM3310Rと無線LAN端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない →WM3310Rに無線LAN端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度を設定してください。AESまたは128bitWEPに対応していない無線LAN端末（子機）を利用する場合WM3310Rの設定を変更する必要があります。 ●どうしても設定できない場合は、「Windows Vista® およびWindows® 7/XPの「ワイヤレスネットワーク接続」で設定する」（☛P4-3）で設定してください。

● ご利用開始後のトラブル

症　状	原因と対策
電源が切れてしまった	●充電池パックの電池残量がありません。充電してください。(☛P2-3) ●スライドスイッチが「WLAN」の場合、下記のような使用状況により、本体が高温になった場合は、自動的に動作を停止します。 ・ 直射日光に当たるところで使用した場合 ・ 高温下で充電しながら使用した場合 ・ かばんに入れて使用した場合 その場合、再度ご使用になるには、スライドスイッチをいったん「OFF」にして、本体温度が下がってから、スライドスイッチを元に戻してご使用ください。 ●スライドスイッチが「WLAN」の場合、電池にてご利用中に一定時間※以上通信が行われなかったときは、自動的に動作を停止します。その場合、再度ご使用になるには、スライドスイッチをいったん「OFF」にしてから、スライドスイッチを元に戻してご使用ください。 ※工場出荷時の状態では「10分」に設定しています。この「無通信監視時間」は、クイック設定Webの［詳細設定］－［その他の設定］の「自動電源OFF設定」で変更することができます。（WWW 機能詳細ガイド） 無線子機の検出状況によっては、設定している時間に対して、５分程度長くなる場合があります。
インターネット接続と切断が頻繁にできたりできなかったりする	お客様がWiMAXサービス事業者との間で機器追加オプション(名称は各事業者により変わる場合があります。）を契約され、１つのWiMAX回線で複数のWiMAX機器を登録されていた場合、後から接続する機器がインターネットに接続され、先に接続されていた機器がインターネットから切断される場合があります。 ２台の機器どうしで接続と切断を繰り返さないようにするため、 ●クイック設定Webの「詳細設定」－［その他］－［切断時設定］にて［WiMAX切断時の自動接続］の［接続する］のチェックを外してください。 なお、［保存］をクリックせず、本商品の電源をOFFしたり、再起動したりすると、設定値が失われますのでご注意ください。 ただし、機器追加オプションでも、各WiMAXサービス事業者ごとにサービス内容が違う場合があるため、この設定をしていても問題とならない場合があります。 （例：WiMAX利用登録画面などで、使用する機器の切り替え手続きを行ってから、インターネット接続ができるようになる場合など。） 詳細は、各WiMAXサービス事業者のサービス説明をご確認ください。

症　状	原因と対策
接続後に、ブラウザを起動したらケーブルプラスWiMAXのエラー画面が表示され、インターネットに接続できない	●お客様のご契約またはご利用状況により、サービスをご利用できない場合に表示される場合があります。詳細については、ご購入された WiMAX 事業者にお問い合わせください。
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.XXX は、ハードウェアのアドレスが .... と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	●［OK］をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。 **＜ IP アドレスの再取得＞** ＜ Windows Vista®/Windows® 7 の場合＞ ①［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を右クリックし、［管理者として実行］をクリックする ②ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］または［はい］をクリックする ③「ipconfig /release」と入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを解放する ④「ipconfig /renew」と入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを取り直す ⑤IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字） ＜ Windows® XP/2000 Professional の場合＞ ①［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /release」と入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを解放する ③「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押し、IP アドレスを取り直す ④IP アドレス（IP Address）が「192.168.0.XXX」になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字） ＜ Mac OS X の場合＞ 以下は Mac OS X v10.4 Tiger の場合の例です。 ①アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する ②［表示］で［ネットワークポート設定］を選択し、［AirMac］のチェックを外して、［今すぐ適用］をクリックする ③［AirMac］のチェックを入れて、［今すぐ適用］をクリックする ④［表示］を［AirMac］にして、［TCP/IP］タブをクリックし、IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する（XXX は 1 を除く任意の数字）
前回はできたのにインターネット接続ができない	●パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも WM3310R の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 〈IP アドレスの再取得〉（☛ 上記）を参照して、IP アドレスを再取得してください。
WM3310R が正常に動作しないが、原因がわからない	●設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、初期化して工場出荷時の状態に戻し、最初から設定し直してください。
接続する無線動作モードのネットワーク名（SSID）を忘れてしまった	●WM3310R 裏面の RESET スイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。（☛P5-14） 出荷時のネットワーク名（SSID）の設定は WM3310R の充電池カバーを外した電池収納部の左上に記載されています。（☛P5-6）

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
接続する無線動作モードの暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった	●WM3310R 裏面の RESET スイッチによる初期化（工場出荷状態に戻す）をしてください。(☛P5-14) 出荷時のネットワーク名（SSID）の設定は WM3310R の充電池カバーを外した電池収納部の左上に記載されています。(☛P5-6)
無線状態が良好なのに速度がでない	●近くに隣接する無線チャネルを使っている人がいる、または「チャネル状況」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth などの電波を放射する装置で電波干渉がある。 →クイック設定 Web を起動して［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 設定］の［無線 LAN アクセスポイント（親機）設定］で「使用チャネル」の番号を変更します。設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャネルから 4 チャネル以上ずらすようにしてください。 ●WM3310R と無線 LAN 端末（子機）が近すぎる →1m 以上離してください。
無線状態が良好なのに通信できない	●〈IPアドレスの再取得〉(☛P5-11)を参照して、IPアドレスが取得できるか確認してください。 ●固定 IP アドレスでお使いの場合は、WM3310R と無線 LAN 端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 （例：WM3310R が 192.168.0.1 のとき、無線 LAN 端末（子機）は 192.168.0.XXX）
無線 LAN 端末（子機）を利用して、ＡＶサーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	●無線状態が悪い（WM3310R との距離が離れすぎている） →電波状態が良好となるところに移動してください。 ●電波干渉がある →無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。(☛ 上記) ●AV サーバのレートを低品質に下げてご利用ください。
WM3310R のバージョンを確認したい	●次の方法で確認できます。 ・ クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」

添付の CD-ROM に関するトラブル

症　状	原因と対策
CD-ROM セット直後に表示される画面を表示したくない	Windows® XP/2000 Professional の場合、CD-ROM をセットすると、画面が表示されるように設定されています。 →表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。 ●不要な場合は  をクリックします。（機種によっては［終了］をクリックします。） ●Windows® XP/2000 Professional の場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。

5-2 初期化する

初期化とは、WM3310R を WLAN モードでご利用の場合に、WM3310R に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことをいいます。WM3310R がうまく動作しない場合は、WM3310R を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

※ 初期化の際は、P5-14 の「お願い」もご覧ください。
※ 初期化しても、お客様がバージョンアップした WM3310R のファームウェアはそのままです。

初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

- クイック設定 Web で初期化する（☛ 下記）
- RESET スイッチで初期化する（☛P5-14）

> **!**
> WM3310R を USB モードでご利用の場合（スライドスイッチを「USB」にしている場合）は、初期化はできません。

クイック設定 Web で初期化する

1 **パソコンを起動する**

2 **WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

WM3310R の IP アドレスを入力しても開きます。（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）例：http://192.168.0.1/

3 **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする**

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **「メンテナンス」の［設定値の初期化］を選択する**

5 **［設定値の初期化］をクリックする**

〈画面例〉



6 **［OK］をクリックする**

WM3310R が再起動します。

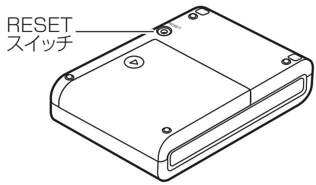
RESETスイッチで初期化する

WM3310RのRESETスイッチを使って初期化を行います。RESETスイッチは、裏面にあります。

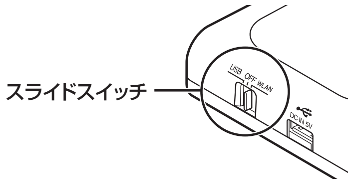
1 WM3310RのPOWERランプが緑点灯していることを確認する

2 WM3310Rの裏面にあるRESETスイッチを細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で押し続け、POWERランプが赤点滅を始めたら離す

POWERランプが赤点滅するまで約6秒〜10秒かかります。



3 WM3310Rのスライドスイッチをいったん「OFF」にして電源を切ったあと、10秒ほど待ってから「WLAN」に戻す



お願い

●WM3310Rの設定を初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされ、パケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。

●WM3310Rは、工場出荷時に、ネットワーク名（SSID）、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名（SSID）、暗号化キーの設定も工場出荷時の設定（本商品の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に記載）になります。暗号化の設定を変更している場合などは、無線LAN端末（子機）から接続できなくなる場合があります。その場合は、WM3310Rの設定を変更するか、無線LAN端末（子機）の暗号化設定も工場出荷時の状態（本商品の充電池カバーを外した充電池パック収納部の左上に記載）に戻してください。

6

付録

6-1 製品仕様

WM3310R ハードウェア仕様

項　目			諸元および機能	
WiMAX インタ フェース	IEEE802.16e-2005		周波数帯域 / BW	2.5GHz 帯（2,575 ～ 2,625MHz）/ 10MHz, 5MHz TDD
			伝送方式	OFDMA（直交周波数分割多重）方式
			最大出力	23dBm
	アンテナ		内蔵× 2（MIMO 方式）	
USB インタ フェース	物理 インタフェース		USB コネクタ（micro B-type）× 1	
	インタフェース		USB（USB2.0 推奨＊ 2）	
無線 LAN インタ フェース	IEEE802.11b		周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400-2,462MHz）/ 1 ～ 11ch
			伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式
			伝送速度＊ 1	11/5.5/2/1Mbps （自動フォールバック）
	IEEE802.11g		周波数帯域 / チャネル	2.4GHz 帯（2,400-2,462MHz）/ 1 ～ 11ch
			伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式 / 搬送波数 52
			伝送速度＊ 1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動フォールバック）
	アンテナ		送信 1 ×受信 1（内蔵アンテナ）	
	セキュリティ		SSID、MAC アドレスフィルタリング、ネットワーク分離機能、 WEP（128/64bit）、WPA-PSK（TKIP、AES）、 WPA2-PSK（TKIP、AES）	
ヒューマン インタ フェース	状態表示ランプ	POWER	電源通電時点灯（WLAN モード時のみ）	
		WLAN	無線 LAN の通信状態表示（WLAN モード時のみ）	
		バッテリー	電池使用時は電池残量表示 充電時は充電状態表示	
		WiMAX	WiMAX の通信状態表示	
		アンテナ 1 ～ 3	WiMAX の電界強度表示（WLAN モード時のみ）	
	スイッチ		設定ボタン× 1 RESET スイッチ× 1 スライドスイッチ× 1	
動作保証環境			温度 0 ～ 35℃　湿度 10 ～ 90%	結露しないこと
外形寸法			約 94（W）× 67（D）× 22（H）mm	突起部除く
電源			充電池パック（リチウムイオン電池）	定格 3.7V 1880mAh （7.0Wh）＊ 3
消費電力			最大 4.0W（動作時） 最大 7.5W（充電時）	
質量（充電池パック含む）			約 145g	AC アダプタを除く

＊ 1： 規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。
＊ 2： USB1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。なお、対応しているすべてのパソコンについて動作保証するものではありません。動作確認済みのパソコンは別紙に記載のホームページでご覧ください。
＊ 3： 充電時の AC アダプタの入力条件は、AC100V ± 10% 50/60Hz です。

6-2 索引

(WWW)マークの項目については、ホームページに公開している「(WWW)機能詳細ガイド」で説明しています。

■本商品で使用しているソフトウェアについて

本商品は、セキュリティ確保のため、自動設定時に通信を暗号化しています。
通信の暗号化には、OpenSSL プロジェクトで作成された OpenSSL Toolkit ソフトウェアを使用しています。
OpenSSL Toolkit ソフトウェアは世界で広く使用されており、ライセンス規約を順守することによって無料で使用できます。
以下に OpenSSL Toolkit のライセンス規約（原文）を記載します。
なお、本商品のマニュアルなどで記載されている通常の使用においては、ライセンス規約に違反することはありません。

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

●リチウム系電池輸送規制について

本装置は、リチウムイオン電池を使用しています。本装置とリチウムイオン電池を組み込みまたは同梱して輸送する場合は、輸送会社に「リチウムイオン電池を含んだ内容物」であることを伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。法令に基づく表示等を行わないで、空輸、海上輸送を行いますと、航空法、並びに船舶安全法に抵触し、罰せられることがあります。

● ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。

（2） 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

（3） 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

（4） 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

（5） セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

（6） せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

製造元：NEC アクセステクニカ株式会社
Aterm WM3310R 取扱説明書　第 2 版

AM1-001400-002
2010 年 9 月